第三百七十一條　配偶者尊屬親卑屬親ヲ除リ
ノ外何人タリヒ十ケ年以上禁治産者ノ後見
ヲ擔任スルニ及ハス

佛第五百八條　配偶者尊屬親及ヒ卑屬親ヲ除リノ外ハ何人ヲ論セス治産禁ヲ受ケタ
ル者ノ後見ヲ十年以上係ルニ及ヘスト雖モ期限ノ終リニ至リ後見人ハ後任者ノ撰定ヲ請求
スルヲ得ヘシト雖モ其撰定ヲ得サル者トス

墨第四百一條全シ

伊第三百三十三條　配偶者先親及ヒ後見ヲ除リノ外ハ何人タルヲ問ハス十年以上繼續シテ受治産
禁者ノ後見ヲ擔任スルヲ要セス

荷第五百十五条　夫婦尊屬親又ハ卑屬親（親）除リノ外何人ニ限ラス八ケ年ヲ經過スル時ハ治産禁
ヲ受ケタル者ノ管財ヲ爲スヲ免カルヽヲ得可シ而シテ該八ケ年ヲ經過スル時ハ管財人
其交代ヲ得シトスルヲ得可シ

嗹、魯、英成文ナシ

第三百七十二條　未成年者ノ後見ニ係ル規定
ハ禁治産者ノ後見ニ適用ス

禁治産者ハ其財産ニ付未成年者ト同視セラ
ルヘシ

佛第五百九條　治産禁ヲ受ケタル者ハ其身体及ヒ財産ニ付キ幼者ト同視シ幼者ノ後見
ニ付テノ法律ハ治産禁ヲ受ケタル者ノ後見ニ適用スヘキモノトス

墨第四百二條同シ

伊第三百二十九條　治産ノ禁止ヲ受ケタル者ハ後見權下ニ歸屬スル未タ年者ノ後見ニ關スル
各條則ハ之ヲ受治産禁者ノ後見ニ擬施スルヲ得可シ

荷第五百六條　治産禁ヲ受ケタル者ハ幼者ト同樣ノ者タリ但浪費ヲ爲シテ治産禁ヲ受
ケル者ノ婚姻ヲ爲カレト欲スル時ハ第九十五条及ヒ第二百六条ヲ適用スヘシ又幼者後見ニ關
スル第十六卷第十一款及ヒ第十二款ノ第三百八十六条ヨリ第三百九十九条迄並ニ百二十四條ヨリ第
四百四十六条迄並ニ百四十九條以下數條ノ條令ニ規則モ亦管財ヲ爲ス事ニ適用スヘシ

辺第三百二十六條 後見人ノ監督ヲ受クルヲ要セサル者ハ政府ノ執行ヲ停止セラルルコト

其第三百八十四條 痴癈者ノ財産管理ハ専ラ其家産ニ從ヒ其利益及ヒ保存ヲ目的トスヘシ

但シ此者ノ有スル債主權ニ就テハ此限リニ在ラス

辺、魯成文ナシ

第三百七十三條 禁治産者ノ所得ハ療治其他本人ノ保養ノ爲メニ之ヲ用ユルコトヲ可シ

其疾病ノ性質ト其資産トノ狀況ニ從ヒ自宅ニ於テ療養セシメ若クハ病院ニ入ラシムルハ親族會之ヲ決スト雖モ痴癈病院ニ入ラシメ又ハ自宅ニ監置スルヲ得ルハ特別法ヲ以テ之ヲ定ム

佛第五百十條 治産禁ヲ受ケタル者ノ入費ハ其受ケタル禁治産ノ不幸ヲ慰安シ且其療養ヲ速ニ平癒セシムルノ用ニ供スルヲ要ス而シテ前條ノ疾病因テ治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ身分ト公ケノ安寧ニ關スル時ハ裁判所ハ其若干ノ時又ハ一ケ年ヨリ多カラサル期限ヲ以テ病院又ハ狂病院ニ送ルコトヲ命スルコトヲ得

十條 公ケノ安寧ニ關スル時裁判所ハ無親又ハ後見官ノ求メニ依リ又ハ治産ノ禁ニ因テ入院スヘキ者ヲシテ一ケ年間禁錮ヲ延期スルノ權アリ

中立ヲ聽キシ後每歲其禁錮ヲ延期スルノ權アリ

累第四百四條 治産ノ禁ヲ受ケシ者疾病ニ罹リタル時ハ病病ノ種類ト資産ノ有樣トニ從ヒ裁判官ハ其住所又ハ病院ニ於テ治療スヘキヲ言渡スヘシ若シ狂疾ナル時ハ必ス其場所ニ置クヘシ

英第三百七十四條 自然ニ天稟知覺ヲ喪失シタル者又ハ天稟ノ聾、唖、盲ナルモノヲ以テ此等者ノ身体ヲ保護シ及ヒ財産ヲ管理スルノ權理ハ王家ニ屬スヘシ則チ王家ハ民ノ所ニテ療養セシメ又ハ養生所及ヒ癈ノ病院ニ入ラシムルコトヲ可シ

荷第五百八條 癈疾ハ自然又ハ狂疾ニ因テ治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ入費ハ其養生ノ方ヲ擧クルト且ツ其疾ヲ速ニ平癒セシムルノ用ニ供スヘシ

疾病因テ治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ身分ト公ケノ安寧ニ關スル時裁判所ハ其若干ノ時又ハ一ケ年ヨリ多カラサル期限ヲ以テ病院又ハ狂病院ニ送ルコトヲ命スルコトヲ得

十條 公ケノ安寧ニ關スル時裁判所ハ無親又ハ後見官ノ求メニ依リ又ハ治産ノ禁ニ因テ入院スヘキ者ヲシテ一ケ年間禁錮ヲ延期スルノ權アリ

中立ヲ聽キシ後每歲其禁錮ヲ延期スルノ權アリ

累第四百四條 治産ノ禁ヲ受ケシ者疾病ニ罹リタル時ハ病病ノ種類ト資産ノ有樣トニ從ヒ裁判官ハ其住所又ハ病院ニ於テ治療スヘキヲ言渡スヘシ若シ狂疾ナル時ハ必ス其場所ニ置クヘシ

英第三百七十四條 自然ニ天稟知覺ヲ喪失シタル者又ハ天稟ノ聾、唖、盲ナルモノヲ以テ此等者ノ身体ヲ保護シ及ヒ財産ヲ管理スルノ權理ハ王家ニ屬スヘシ則チ王家ハ民ノ所ニテ

編後見人ノ如シテ白痴ノ生存中其財産ヲ毀損セシテフ此財産ヨリ生ス利益ヲ享
ケシ但シ此白痴ノ需用ヲ給與シ及ヒ其死亡後ニ至リ相續人ニ此財産ヲ還付スル等
ハ格別ナリ（第四百七十三条）親戚或ハ朋友數等ニ係リ精神知覚ヲ喪失セシ者又ハ聾唖ニ
シテ盲ナル者ヲフ英國王ハ之ヲ後見人ト見做サンコトヲ請求スルトキハ此等ノ者ノ身体及ヒ財
産ヲ保護管理スルノ主タル此財産ヨリ生スル利益ヲ享ケン權理ナカルヘカラス又此等ノ者平常
ニ復セシ時ハ此財産ヲ還付スルナリ

伊、噓、迦、魯、成文ナシ

第三百七十四條　禁治産者ノ後見人ハ其住居ニ使用スル家具ヲ賣却スヘカラス

伊第三百三十二條　受治産禁者ノ後見人ハ其親屬ノ現住スル家屋ノ付具ヲ成ス動産物件
ヲ賣放セシムルヲ要セス

魯第三百七十六條　親族或ハ知人ト認知セラレタル者ノ財産ニハ其相續人ノ管理ニ入ル但シ所有
主ノ存生中其財産ヲ賣却或ハ質入スル禁止ヲ法律上ノ往要ノ後ニ殘ル所ノ收額ヲ完
全ニ保存スルノ義務有ルヘシ○第三百七十七条　然レトモ親族ニ財産ヲ附託シ及ヒ親族ヨリ副署
書ヲ要求シ並ニ親族ニ報酬ヲ決定スルニハ所有主ノ幼等ナルニ由ヲ後見ニ在ル所ノ財産ノ高
ニ定ムヘカラサル如ク當分スヘシ

伊、荷、噓、迦、墨、英成文ナシ

第三百七十五條　法律上ノ後見人ハ第三百二十六條ニ定ムル管理ノ狀況ヲ報告スルヲ要セス

伊第三百三十二条　若シ配偶者又ハ母カ後見人ノ職任ヲ執行スルニ於テハ則チ親屬會若
クハ後見協會ハ其後見人ニ向テ第三百三条ニ掲記セル事項ヲ供出セシムルノ要務ヲ認免
スルヲ得可シ

英第三百八十六条　我第三百七十九條ニ着着

佛、荷、噓、迦、墨、魯成文ナシ

第三百七十六條　配偶者ナキ禁治産者ノ財産

ヲ以テ其子孫ノ婚姻若クハ営業ノ為メ資財ヲ與ヘントスル時ハ親族會之ヲ決シ地方裁判所ノ認可ニ付スヘシ

佛第五百十條　治産禁ヲ受ケタル者ノ子ノ婚姻ヲ為ス可キ時ハ其撰資又ハ遺留財産ノ前取リ及ヒ其他ノ婚姻ノ合意ハ裁判所ニ於テ檢事ノ意見申述ノ上認可シタル親族會議ノ意見書ニ依テ之ヲ規定スヘシ

蘭第四百三條　同シ但シ檢事ノ說ヲ聽キタル上ヲ除ク

伊第三百三十四條　受治産禁者ノ子ノ嫁資及ヒ他ノ婚姻上ノ財産契約ハ親族協會者クハ後見協會之ヲ規定ス

荷第五百十四條　治産ノ禁ヲ受ケタル者ノ子ノ婚姻ヲ為サントスル時ハ第九十五条及ヒ第二百六条ニ依遵スヘキ者トス

英第三百八十五条　又想覚ヲ喪失セシ時ハ其子ノ婚姻ニ付テノ許諾ハ衡平裁判所之ヲ與フヘシトス

嗹、巴、魯、成文ナシ

第三百七十七條　禁治産者ハ禁治産ノ裁判宣告ノ當日ヨリ無能力者ナリトス

裁判宣告後ニ為シタル禁治産者ノ行為ハ當然無効トス

後見人禁治産者其相續人及ヒ承権者ハ無効ヲ請求スルヲ得

佛第五百二条　治産禁又ハ補佐人ノ撰任ハ裁判ノ日ヨリ其効ヲ有スヘキモノトスト雖モ其後ニ至リ治産禁ヲ受ケタル者ノ行ヒシ証ノ取消又ハ補佐人輔助ナクシテ行ヒシ証ノ取消無効タルヘシ

荷第五百條　上段　第三百九十三条　同シ

英第三百八十条　検視書ニハ何ナル年月ヨリ其者ノ知覚ヲ喪失セシヤ及ヒ其者ハ闕乏常ニ復スヘキヤヲ記載スヘシ而シテ其知覚ヲ喪失セシ者ノ言渡ヲ受ケル以後ニ於テ其者ノ託シタル可レトス

ル諸般ノ約定書ハ其効無カラン可シ但シ此者平常ニ復シタル時間ニ於テ記シタル約定書ハ此限ニ在ラス

唖、辺、魯、成文ナシ

第三百七十八條　禁治産ノ裁判宣告前ニ係ル行為ト雖モ其行為ノ當時ニ於テ失心ノ明確ナル片ハ之ヲ無効ト爲スヲ得

若シ禁治産者ト結約シタル者其失心ノ状況ヲ知リタル片ハ假令ヒ失心明確ナラスト雖モ契約ヲ無効ト爲スヲ得

佛第五百三條、治産禁以前ノ所爲ハ之ヲ行ヒシ時期ニ於テ治産禁ヲ受ケ可キ原由ノ存在セシヿヲ著明ナルニ於テハ之ヲ取消スヿヲ得可シ○第五百四條人ノ死去前ニ其治産禁ヲ宣告セラレス又之ヲ要求セラレサル時ニ非サレハ其者ノ行ヒタル所爲ヲ其ノ死後ニ挙リ癡病ノ原由ヲ以テ取消カシト求ムルヿヲ得ス但シ取消ヲ求メラレサル所爲上ニ癡病ノ証アル時ハ格別ナリトス

墺第三百九十四條、第三百七十五條、荷第五百四條、伊第五百二條、全シ（死後ニ効ヲ生ス可キ規約ハ格別ナリトス）ヲ加フ

伊第三百三十六條、治産禁止ノ以前ニ係ル行為ト雖モ若シ治産ノ禁止ヲ受ク可キ原由カ既ニ其行為ノ爲セシ時際ニ存在シ或ハ契約ノ性質或ハ其行為ニ由リ起生シ若クハ起生ス可キ重要ナル損失及ヒ其他ノ情況ニヨリ受治産禁者ト結約セシ人ノ良意ナラサルヿヲ知リ得可キ者アル片ハ則チ之ヲ無効ト爲スヿヲ得可シ○第三百二十七条、其人ノ爲シタル行為ハ其ノ死セノ以後ニ唯治産ノ禁止カ其死セノ以前ニ在リテ請求セラレ若クハ其失心ノ和徴カ自カラ其行為ヨリ起生スノ時会ニ於テアリシト其失心ノ理由ニ依拠シテ之ヲ攻撃スルヿヲ得可シ

唖、辺、魯、英成文ナシ

第三百七十九條　禁治産ノ原由罷ミタル片ハ本人其配偶者親族若クハ検事ノ請求ニ依リ其禁ヲ解ク可シ

禁治産者ハ解禁ノ裁判宣告後ニ非サレハ其

権利ヲ回復スルヿヲ得ス

佛第五百十二條　治産禁ハ之ヲ決定セシメタル原由ト共ニ止息又ハ解除ヲ
産禁ヲ受ケシムル爲メニ定メタル法式ヲ遵守スルニ非サレハ之ヲ宣告スヿヲ可カラス又
治産禁ヲ受ケタル者ハ其解除ノ裁判後ニ非サレハ自己ノ権利ノ執行ヲ復スルヿヲ得ス

墨第四百七條　第四百八條佛ニ同シ

伊第三百三十八條　治産ノ禁止ハ若シ之ヲ爲シタル原由カ廢止セルニ於テハ則チ又毋既
偶當若クハ検事ノ請求ニ應シテ之ヲ解免スノ親屬協會若クハ後見校會ハ治産禁
止ノ原由ノ實ニ廢止セルヤ否ヤヲ認識スルニ注意セサルヿヲ可カラス

荷第五百十六條　佛第五百十二條ニ同シ第五百十七條治産ノ禁ヲ解ク時ハ第四百九
十八條ノ場合ヲ其旨ヲ公告スヿヲ可シ

暉第百五十條　民事喪失ニ因テ治産ノ禁ヲ受ケタル者ハ其治産禁ヲ受ケシ原
由ノ止ミシ時ニ於テ其旨ヲ公告セラルヿヲ得可シ

巴第三百三十六條　治産禁ノ免除若クハ廢棄ハ後見官及ヒ又毋ノ申立ニヨリ言渡サルヿヲ可シ

レヒ若シ後見官又毋又ハ治産禁ヲ受ケタル者而已獨リ之ヲ要求スル時ハ地方裁判
所ハ其要求ノ理由ヲ審査シテ判決ヲ爲スヘシ○第二百三十一條後見廢棄治
産禁ト同一ノ方法ニテ之ヲ公布スヘシ

魯第三百七十八條上段　若シ検視ノ由テ狂乱ナルヿヲ認知セラレタル者ノ逐ニ快復スル時ハ其事ノ
報告ヲ得タル後前文第三百七十三條ヨリ第三百七十三條ニ至ルノ各條ニ定メラレタル規
則ニ拠テ更ニ其者ヲ検視スヿヲ可シ○第三百八十條斯ノ如キ者ノ全ク快復セタル場合ニ於テハ其
快復セタル信認ヲ與ヘタル地方ノ法律職ヲ爲スヿヲ可シ而シテ其者及ヒ其者ニ屬スル
財産ニ後見ヲ免レシムルニハ前文ニ於ケル第後見ヲ設定スル爲ニ定メタル處規則ニ注意スヿヲ可シ

英第三百八十六條　疎懶者平常ニ復シタル時ハ管財人其職務ヲ辞スルヲ得可シ然レ時ハ其管
理財産ニ付キ計算ヲ爲スヿヲ可シ

第二節　准禁治産

第三百八十條　心神耗弱者聾唖者生盲者及浪費者ハ之ヲ保管ニ付スルコトヲ得

保管人ハ配偶者三親等マテノ血族及ヒ尊屬タル姻族ノ請求ニ依リ地方裁判所ニ於テ檢事ノ意見ヲ聽キ之ヲ指命ス

（第五百十三條）浪費者ニ裁判所ヨリ位ニ付キ神佐人ノ補助ヲクルヿヲ訴訟ヲ爲シ和解ヲ爲シ金額ヲ借受ケ動産ノ元金ヲ受取リヲ其義務免除ノ証書ヲ與ヘ又ハ自己ノ財産ノ所有權ヲ移轉シ又ハ之ヲ書入質ト爲スコトヲ禁スルヿヲ得可シ（第五百十四條）前項ノ神佐人ノ補助ヲクルヿヲ請求スルノ權利アルモノヨリ之ヲ要求スルコトヲ得可シ

伊第三百三十九條　心神ノ耗弱ニ因リ治産ノ禁止ヲ受ケントスルニ至ラサル人及ヒ浪費者ハ親屬又ハ舍若シ後見監督ノ指命スル保管人ノ輔同ヲ得ルニ非サレハ則チ次項ノ各事ヲ爲行スルヿヲ得ス

サルヿヲ法衙ニ依ヲ公言セラルヿヲ其事ヲルヤ爭訟ヲ擡起シ恨約ヲ締結シ借用契約ヲ締結シ資本數ヲ領收シ其他受託ノ金ヲ付與シ財産ヲ轉讓シ若クハ券記抵當ト爲シ其他錯ヲ普通ヲル財産管理ノ權限ヲ踰越スル行爲ヲ爲ス者即チ是ナリ○財産禁治産

唯裏正ノ治産禁止ヲ請求スル權理ヲ有スル人ハ之ヲ請求スルヿヲ得ヘシ○第三百四十條 聾唖人及ヒ盲目人ハ假令ヒ丁年ノ生齢ニ達スルヿヲ前條ニ記載セル行爲ヲ爲スニ不合格ナル者トス但シ法衙カ自己ノ職掌ヲ當爲スルニ合格ナリト公言シタル者ノ如キハ此限リニ在ラス

第三百四十三條 治産禁ノ原由トシテ爲スヿヲ得ス

第三百八十一條 聾者及ヒ唖者ハ二十歳ニ至ル迄後見ノ下ニ在リ而シテ滿成年ニ達スルノ後以民法ヲ三百六十八第ヨリ第三百七十三第ニ至ルノ者ニ原キ之ヲ法律上輔視ノ爲スヿヲ而シテ若シ其輔視セラルヽ者カ自由ニ已レカ意ヲ示シ及ヒ已レカ望ミヲ顯ハスヿヲ得ヘキト見ル時ニ在テハ他ノ成年者ト同シク已レノ財産ヲ管理及ヒ處分スル權利ヲ任スヿヲ得ヘシ獨リ此者ニ對シテハ如キ權利ヲ全ク任スルノ危殆ナルヿヲ見出ス時ニ元老院ニ上申シタル後其唖者或ヒ聾者ノ管財ヲ決定スヿヲ又證書習字ヲ學ハシムル並ニ理解ヲ得ヘキヿヲ及ヒ望意ヲ顯ハスヿヲ得ヘキヿ方器ヲモ決ヒルヿヲ唖者及ヒ聾者ニ對シ元老院ノ輔視ヲ爲シタル者ノ上申ニ由ヲ後見ヲ設定スヿヲ又斯ノ如キ管財及ヒ後見ノ設定ヲ及ヒ之ヲ實行スルニ關スル爭者ニ對スル後見並ニ夫成年者ニ對スル管財ノ設定及ヒ實行スル爲メニ定メラレタル規則ヲ實施スヿヲ

英第三百八十七條 第三百七十四條 我第三百七十三條參看

荷、唖、迂、成文ナシ

第三百八十一條 第三百五十八條 第三百五十九條 第三百六十一條 第三百六十二條 第三百六十三條 第三百六十四條 第三百六十五條ニ於ケル臨時保管人ハ地方裁判所之ヲ指命ス

裁判所ハ狀況ニ從ヒ准禁治産者保管人ノ立

會フニ非サレハ管理行爲ヲモ爲スヲ得ス
裁判スルヲ得

佛第五百十四條初項但シ其訴求ハ治産禁ノ訴求ト同一ノ方法ニテスル管理ニ及ヒ
裁判セサルヘカラス

伊第三百四十條前條ノ不合格者ノ其保管人ノ賠償ヲ得スシテ爲シタル行爲ノ無効ノ唯
其不合格者其承産者若クハ其受権者ノミ訴求スルヲ得可シ

荷、嗹、辺、墨、魯、英成文ナシ

第三百八十二條　准禁治産ノ原由罹リタル時
ハ本人及ヒ第三百八十條第二項ニ掲クル者
ノ請求ニ依リ其禁ヲ解ノ可シ

佛第五百十四條末項其禁ハ治産禁ノ解除ト同一ノ方式ヲ遵守スルニ非サレハ之ヲ解除スル
ヲ得ス

伊第三百四十二條本章ノ不合格ハ彼ノ治産ノ禁止ト雖ニ其不合格タル原由ノ罷ム
止スルニ隨ヒ亦罷止スル者トス

荷、嗹、辺、墨、魯、英成文ナシ

第三節　刑事上禁治産

第三百八十三條　刑事上禁治産ヲ受ケタル者ハ其財産ヲ管理スルコトヲ得ス又遺囑ヲ以テスルノ外ハ其財産ヲ處置スルコトヲ得ス

禁治産ノ効果ハ裁判確定ノ當日ヨリ生ス

佛第三十五條　刑ヲ言渡カレタル者ハ准禁ニ依リ其ニ有スル總テノ財産ノ所有權ヲ失ヒ且ツ其者ノ遺囑ナクシテ死去シタル時ト同一ノ方法ニテ其相續人ノ利益ニ於テ財産相續ヲ開始シ其相續人ニ財産ヲ移轉スルヲ以テ其者ハ最早荷モ財産相續ヲモ收取スルヿヲ得又婚姻後ニ獲得シタル財産ヲ以テ人ニ轉移シタルヿヲ得ス其者自己ノ財産ノ全部又ハ一部ヲ生存中ノ贈與ニ依リ若ハ遺囑ニ依リ處分スルヿヲ得又養料ノ爲メニ非サレハ生存中ノ贈與又ハ遺囑ノ名義ニテ財産ノ收受スルヿヲ得ス又其者ハ後見人ニ任セラレヿヲ得ス又後見ニ關シタル所爲ニ於テハ正ノ訴訟書ニ於テ訴人トナルヿヲ得ス又裁判所ニ於テ訴ヲ申告スルヿヲ許サス又其者ハ訴訟ヲ申

告又ハ訴人裁判所ヨリ其者ノ為メニ位ヲ与ヘラレ特別官吏又ハ名前ヲ以テ且ツ其紹介ヲ受クル非サレハ裁判所ニ出ツルヲ得ス○其者ハ民法上ノ効力ヲ生ス婚姻ヲ契約スルヲ得ス○其者ノ以前契約シタル婚姻ハ為ニ其民法上ノ効力ヲ失フ○前ニ掲ケタル二ツノ其者ノ配偶者及ヒ相続人ハ其者ノ死去ノ為メニ開始スヘキ権利及ヒ訴権ヲ有ス

執行スルヲ得ヘキ○第三十六条　刑ノ判決ノ言渡ハ其現実ノ執行若クハ背像ニ依リ執行ノ日ヨリ起算スルニ非サレハ消滅セス○第三十七条　刑ノ缺席ノ言渡ハ背像ニ依リ裁判執行時ヨリ五年ノ後ニ非サレハ消滅ヲ受ケサル者自ラ投首スルヲ得可シ

荷第四條　如何ナル刑ト雖モ消滅シ又ハ刑ニ因ル民権ヲ失フニ至ルヘカラス○民権ヲ有スル事ハ天賦ノ主因ナルニ非サレハ停止ス可カラス

唖第十四條　凡ソ罪ヲ往刑ノ言渡ヲ受ケシ者ハ其刑期ノ時間法律上ニ於テ治産禁ヲ受ケタル者ト做シ財産ヲ享有スルヲ得ス○若シ其死人財産ヲ相続スル為メニ於テハ其相続人ノ財産ヲ以テ之ヲ弁償スヘキ義務ヲ負フ

英第二十六條　反逆罪ヲ犯シタル者ノ不動産ハ之ヲ王家ニ没収シ謀殺ノ罪ヲ犯シタル者ノ不動産ハ之ヲ仮家ニ没収シ又自殺放火誘拐窃盗此他類例ノ重罪ヲ犯シタル者ノ動産ハ之ヲ王家ニ没収ス可シ○反逆及ヒ重罪ノ刑名ニ於テ指示サル忌憚ノ犯罪即チ謀殺ヲ犯シタル者ノ如キハ遺物相続ニ因リ財産ヲ譲受ケ又ハ之ヲ譲典ラレテ得タル財ト雖モ他種ノ罪科ヲ犯シタル者ニ就テハ此ノ如キ○ニ○此他佛國民法第二十五條ニ記スル数項ハ正ニ没収及ヒ重罪ノ刑ニ処セラレタル者ニ適用セリ又死罪ノ性質ト猶ホ其数項ノ全部若クハ一部ヲ他種ノ罪科ヲ犯シタル者ニ適用スルヲ以テ婚姻ヨリ生ズル夫婦ノ合従ハ夫ノ死ヲ以テ止ム○第三十七条　反逆ノ罪ヲ犯シタル者ノ民事上ノ効力ハ其死時ニ溯リ之ヲ失フ可シ故ニ死罪後ニ為ス取結ヒ売買又ハ書入質等ノ契約ハ効ナシトス○凡ソ重罪ヲ犯シタル者ノ動産ニ関シテハ犯人其罪ヲ吐露セシ時又ハ陪審官ノ之ヲ告発シタル時ノ如キ舎リ其罪ヲ

確認シタル日ヨリ起算シ民事上ノ効力ヲ失フ可シ此ノ犯罪ノ外ハ刑名宣告後三年
民事上ノ効力ヲ失フ可シ缺席ニ係ル詐欺ニ係ル重罪ハ宣告以前ニ在ルモ之ヲ取消ス可シ

（巡、異、魯、成文ナシ）

第三百八十四條　刑事上禁治産者ニハ治産人ヲ付シ其財産ヲ治セシム此治産人ノ指定及ヒ治産ノ方法ハ民事上禁治産者ノ後見ニ係ル條例ヲ適用ス

第三百八十五條　禁治産者ノ所得ハ領收ノ都度財金預所ニ預ケ刑期間ハ之ヲ禁治産者ニ與フルヲ得ス

（皆、成文ナシ）

第三百八十六條　刑事上ノ禁治産ノ効果ハ主刑ノ終リニ於テ罷ム

（佛、魯、和、獨、墨ニ文ハ相當ノ文ヲ缺ク　伊、葡、墨ニ文ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者カ五年ノ後ニ至リテ自カラ投首シ又ハ拘留ヲ受ケタル上ニテ再度ノ裁判ニ因リ放免セラレ又ハ准免ヲ得タル者ハ其裁判所ニ現出シタル日ヨリ）

第三

ル起業ニヲ停止シ其民權ノ全部ノ復スヲ得ル（期限）等ノ終リシ時期ヨリ其裁判所ニ出タル日ノ至ル迄ノ時間ニ進算セラ

ヲ法ニヨル敗ノ既往ニ及ホスヲ可シ

（伊、葡、墨ニ文ナシ）

此場合ニ於テハ裁判所ハ關係人及ヒ檢事ノ請求ニ依リ會議ニ於テ直チニ假管理人ヲ指定ス

確認シタル日ヨリ起算シ民事上ノ効力ヲ失フ可シ此ノ規則ノ外ハ刑名宣告後ニ於テ民事上ノ効力ヲ失フ可シ但シ禁錮以上ノ刑ニ処セラレタル者ニ付テハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム可シ

（此ノ条ハ旧ノ儘）

第三百八十四條　刑事上禁治産者ニハ治産人ヲ付シ其財産ヲ治セシム此治産人ノ指定及ヒ治産ノ方法ハ民事上禁治産者ノ後見ニ係ル條例ヲ適用ス

第三百八十六條　ノ場合ニ於テハ禁治産者ノ同意ヲ得ルヲ要ス

（皆成文ナシ）

第三百八十五條　禁治産者ノ所得ハ領収ノ都度

（期間ハ之ヲ禁治産者ニ

第三　刑

（皆成文ナシ）

第三百八十七條　付錄　瘋癲者ノ假管理

第三百八十七條　禁治産ヲ受ケサル瘋癲者ア
ル片ハ配偶者親族及ヒ検事ハ特別法ニ定ム
ル手續ニ從ヒ地方裁判所長ノ允許ヲ得テ之
ヲ瘋癲病院ニ入レ若クハ自宅ニ監置スルコ
ヲ得

此場合ニ於テハ裁判所ハ関係人及ヒ検事ノ
請求ニ依リ會議ニ於テ直チニ假管理人ヲ
指定ス

佛第四百九十六條 裁判所ニ於テハ親族会議ノ意見ヲ聽キタル後裁判官会議ノ意見ヲ以テ被告人ヲ訊問スヘキ若シ被告人出席スル能ハサル時ハ特ニ委任セラレタル裁判官ヲシテ補助ヲ受ケ其住所ニ至リテ之ヲ訊問スヘシ但何レノ場合ニ於テモ検事ノ訊問ニ立会フヘシ 2 第四百九十七條 前項ノ訊問ノ後裁判所ニ於テ必要アリト為ス時ハ被告人ノ身体及ヒ財産ヲ管理セシムル為メ仮リノ管理人ヲ委任スヘシ

伊第三百二十七條末項 我第三百六十九條若クハ

荷第四百九十三條 佛第四百九十六條ニ同シ但シ親族会議ヲ血属親ニ換ヘテ又ハ治産ノ禁ヲ為スヘキ訴訟又ハ血属親ノ申立ヲ記セル調書ヲ治産ノ禁ヲ廃スヘキ者ニ説聽カセシ後ニ非サレハ問乱ヲ為スヘカラス

江第二百十八条 若シ後見官カ父母ノ願ヲ允許セス又ハ後見官ノ願ヲ允許セサル時ハ其理由ヲ調査セサルヘカラス但シ大法官本人ヨリノ抗告ヲ以テ所為ヲ行ハシメサルカ為メ其ニ仮リ所置ヲ為サヽルヘカラス

墨第三百八十七條 治産ノ禁ノ訴訟ヲ下聞クヘシ 2 裁判官被告ノ動産ヲ係金ヲ又ハ動産ヲ五覇ル為メ必要アリト思考スルニ於テハ被告ノ財産ヲ仮リニ支配スヘキ者ヲ任スヘシ

魯、英成文ナシ

第三百八十九條 假管理人ハ一切ノ権利行為ニ於テ痴癲者ヲ代表シ禁治産者ノ後見人ト同視セラルヘシ但シ必要ナルカ若クハ明瞭ニ有益ナル行為ニ非サレハ之ヲ為スヲ得ス

皆成文ナシ

第三百九十條　疒癒者入院若ハ監置中ニ爲シタル行爲ハ本人其家族者及ヒ假管理人之ヲ訴擊スルヿヲ得

裁判所ハ疒癲者入院若ハ監置中ニ行爲ヲ爲シタル證據アル片ハ其行爲ヲ無効ト爲スヿヲ得但シ對手人ハ疒癲者本心ニテ行爲ヲ爲シタルヿヲ證明スル片ハ此限ニ在ラス

（第三百七十八條參看）

第三百九十一條　疒癲者ノ無能力ハ裁判所假管理ヲ解ク片ニ罷ム

假管理ハ入院若ハ監置ヲ求メタル原由ノ罷ム片ハ特別法ノ手續ニ從ヒ之ヲ解クヿヲ得

皆成文ナシ

第十二章　戸主及家族

第三百九十二條　獨立シテ一家ヲ成ス者ヲ戸主ト爲シ其家内ニ在ル親族ヲ家族ト爲ス

戸主及ヒ家族ノ婦者ハ其戸主ノ家族ト爲ス

魯第百八十一條、第百八十二條（第百九十一條）、我第二百四十八條參看

佛、伊、荷、墨、辺、葡、英成文ナシ

第三百九十三條　家族ハ婦及ヒ未成年者ヲ除クノ外分家ヲ爲シ又ハ親屬ニ係ル廢絶家ヲ再興スルヿヲ得

皆成文ナシ

第三百九十四條　他家ノ入夫若クハ婦ト爲リタル者婚姻無効若クハ離婚ノ場合ニ於テハ實家ニ復歸シ其家族ト爲ルモノトス實家已

ニ廢絶シ又ハ之レニ復帰スルヲ欲セサル片ハ其廢絶家ヲ再興シ若クハ一家ヲ新立スルヲ得

皆成文ナシ

第三百九十五條　又母ノ知レサル子其認知ヲ受ケサル間ハ嘗テ一家ヲ新立シタルモノト爲ス

皆成文ナシ

第三百九十六條　第二百二十九條第一項ニ記載シタル養子ハ一家ヲ新立シタルモノト爲ス

皆成文ナシ

第三百九十七條　特例婚姻ノ場合ニ於テハ婚姻ノ継續中夫ヲ以テ戸主ト爲ス

皆成文ナシ

第三百九十八條　戸主失踪ノ宣言ヲ受ケタル者ハ其家督ノ占有ヲ得タル者ハ其占有中戸主ト爲ス

皆成文ナシ

第三百九十九條　失踪ノ宣言ヲ受ケタル單身戸主ノ七失若クハ最後ノ音信ノ日ヨリ滿三十ケ年ニ至リ又ハ其齢滿百年ニ至ルマテ家督相續ノ占有者無キ片ハ當然絶家トス

皆成文ナシ

第四百條　戸主死亡ノ後家督相續ヲ爲ス者無キ片ハ當然絶家トス

此場合ニ於テ其家族ハ各一家ヲ新立シタルモノト看做ス戶主廢家若クハ國民分限ヲ喪失シタル場合ニ於テモ亦同シ

皆成文ナシ

第四百一條　家督相續ニ因リ戶主ト爲リタル者ハ他家ノ入夫ト爲リ又ハ婦ト爲ルヲ得ス

皆成文ナシ

第十三章　住所

第四百二條　何人ト雖モ私權ノ行用ニ關シテハ其生計ノ中心タル所ノ地ニ其住所ヲ有ス

住所ニハ法定ノモノアリ又隨意ノモノアリ

佛第百二條　民權ノ執行ニ關シテ各佛蘭西人ノ住所ハ其主タル居止地ニ在リトス

伯第十四條　嗹第二十七條　合シ

伊第十六條　國民タル者ノ住居ハ其人カ主要タル職業及ヒ關係ヲ有スル場地ニ在ル者トス

其居所ハ其人カ常ニ居留スル場地ニ在ル者トス

墨第四十二條　佛第百二條ニ同シ　主タル住居ノ地トハ人ノ事業ニ駐在スル地ヲ謂フ（ヲカフ）

英第七十七條　英國法律ハ住所ニ關スル規則ヲ誤ラサランカ故ニ其原則ヲ外國法律ニ適フカヲ擇カラサリキ然レトモ今代ニ至リテハ往往論議題ニ上リ終ニ裁判所ニ於テ之ヲ議定セリ　白第七十八條　佛第百二條ニ同シ

巴、魯成文ナシ

第四百三條　家督相續ヲ爲シ戸主ト爲ル者ハ其前ノ主ノ住所ヲ以テ其住所ト爲ス
家族ハ能力者タリト雖モ其戸主ノ住所ヲ以テ其住所ト爲ス
皆成文ナシ
第四百四條　法定ノ住所ハ法律ノ之ヲ付與シタル原由ト共ニ止息ス
然レドモ法定ノ住所止息シタル後反對ノ意思ヲ申述セサル者ハ同所ニ住所ヲ定メタルモノト推測ス
佛第百六條　一時ノ公務又ハ廢止スヘキ公職ニ在ル官吏ハ其從前有セシ住所ヲ保存シ但シ之ニ反スル意思ヲ明示シタル時ハ此限ニ非ス
佛第百七條　軍職ノ執行セラルル場所ニ直ニ其官吏ノ住所ヲ移シタルモノト爲スヘシ但第百八條ノ場合ハ此限ニ非ス
佛第百八條　家婦ハ其夫ノ住所ノ外他ニ住所ヲ有セス又後見ヲ免脱セラレサル幼者ハ其父母又ハ後見人ノ住所ヲ以テ己レノ住所ト爲スヘシ又治産禁ヲ受ケタル成年者ハ其後見人ノ住所ヲ以テ己レノ住所ト爲スヘシ
唯第三十一條ヲ三十二條第三十三條第四十六條第四十七條ニ揭ケタル場合ニ於テハ此限ニ非ス
又ハ數多ノ同ロワスヒリ臣ニ於テ職務ヲ行フヘキ官吏ハ其住勤ヲ受ケシ前ノ場所ヲ以テ住所ト爲スヘシ但シ之ニ反スル意思ヲ表スル時ハ格別ナリトス）ヲ加フ
伊第十八條　法律上ニ於テスル夫妻別居ヲ爲スノ所ノ婦女ハ夫タル者ノ住居ヲ以テ其住居ト爲ス其夫ヲ亡スルノ以後ト雖モ別他ノ住居ヲ撰定セサルニ於テハ則チ尚ホ其亡夫ノ住居ヲ保有スル者トス○夫ノ手ニ委タル子輩ノ認可ヲ得サル者ハ父母ノ住居若クハ後見人ノ住居ヲ以テ其住居ト爲スロ治産ノ禁ヲ受ケタルヲ者ハ後見人ノ住居ヲ以テ其住居ト爲ス
荷第八十條　第八十二條　佛第百六條　第百八條同シ
英第八十條　東印度ニ在勤スル者ノ住所ニ付テハ左ノ區別アリ即チ英國王ノ軍隊ニ附屬

スル者ハ其元来ノ住所ヲ保存セル者ト看做シ印度南社ノ勤務ヲ為ス者ハ其元来ノ住所ヲ転移セル者ト看做シ又ハ領事ノ官吏ノ命ニヨリ南人ヲシテ公務ニ従事スル者ヲ保護セサルカ故ニ之ヲ以テ其者ハ元来ノ住所ヲ保存スル者ト推定ヲ為スヲ可カラス

辺、魯成文ナシ

第四百五條　戸主其生計ノ中心ヲ他所ニ定ムルノ意思ヲ以テ其居所ヲ移スヤハ住所ノ変更ヲ生ス

此意思ハ其居住セントス欲スル地ノ身分取扱役所トニ為シタル二重ノ申述ヲ以テ其証トス

民事上禁治産ヲ受ケタル戸主ノ住所ハ後見人本條ノ規則ニ従ヒ之ヲ変更スルヲ得

佛蘭西三條　従前ノ住所ヨリ更ニ他ノ地ニ現ニ居住ヲ為シ且ツ其地ニ主タル居止ヲ定ムルノ意思アル時ハ其住所ヲ移転シタルモノトス○第百四條其意思ノ証ハ去ラントスル地ノ邑廳ト住所ヲ移シタル地ノ邑廳トニ為シタル明白ナル申述ヨリ生ス可シ○第百五條其明白ナル申述アラサル時ハ其意思ノ証ハ景況ニ関ス可シ

荷蘭七十四條　第七十五條　第七十六條　唯第千八條第三十九條英第七十八條第七十九條佛ニ同シ

伊第十七條　他ノ場合ニ自己ノ主要ナル産業ヲト定セル心業ニ於テ居所ヲ其場ニ転移スルヲ以テ其住居ヲ転嫡セル者ト看做ス○此心業ハ其人ヲ離去スル申邑ノ民籍台ニ於テ為セル所ノ公言ト数ノ住居ヲ占定スル邑ノ民籍台ニ於テ為セル所ノ公言トニ因リ表リ其情状ヲ記徴ス可キ他ノ事件ニ因テ之ヲ推度ス可キ者トス

辺、累、魯成文ナシ

第四百六條　家族タル者一家ヲ成スヤハ其生計ノ中心ヲ定ムル地ノ身分取扱役所ニ其意見ヲ申述シテ其住所ヲ定ムルヲ得

外國人モ本條ノ規則ニ從ヒ其住所ヲ帝國内ニ定ムルヲ得

皆成文ナシ

第四百七條　左ノ場合ニ於テハ居所ハ住所ニ代用ス

一　一個人ノ住所全ク知レサルトキ

二　帝國ニ住所ヲ定メサル外國人ニ關スルトキ

皆成文ナシ

第四百八條　何人ト雖モ或ル行爲又ハ事務ノ爲メ臨時住所ヲ撰定スルヲ得

又法律ハ或ル場合ニ於テ臨時住所ノ撰定ヲ命スルヲアリ

佛第百九條　手帶他人ノ家ニ於テ使用ヲ受ケ又ハ勞働スル所ノ成年者ハ其使用ヲ爲ス者又ハ勞働ヲ爲サシムル者ト同一ノ家屋ニ居住スル時ハ其使用ヲ爲ス者又ハ勞働ヲ爲サシムル者ト同一ノ住所ヲ有スルモノト看做ス但第百十條以下ノ場所ハ住所ニ依ルノ定ノ可シ

荷蘭八十條　第八十一條　第三十四條　第三十五條　佛ニ同シ

伊第十九條　其ノ職業若ハ其行爲ニ關シ特別ノ住居ヲ撰定スルトキハ此住居ノ撰定ハ記錄ノ記載ニ依リ其効力ヲ生ス

墨第四十九條　佛第百九條ニ同シ

葡第八十一條　佛第百九條ニ同シ

巴、魯成文ナシ

第四百九條　臨時住所ノ撰定ハ明瞭ナルヲ要シ合意ト同記書又ハ別記書ヲ以テ之ヲ爲スヲ得

其擇定ハ其地ト人トヲ指シ若クハ單ニ其地ノミヲ指シテ之ヲ爲スコトヲ得

債務者ノ普通ノ住所ニモ亦其擇定ヲ爲スコトヲ得

仲第百十一條 一箇訴書ニ双方ノ者又ハ其中一方ノ者ノ方ニ於テ其訴書ノ執行ノ爲メ現實ノ住所ノ地ヲ更ニ他ノ地ニ於テ住所ヲ擇定スル旨ヲ記シタル時ハ其訴書ニ關スル書類送達訴求訴訟手續ハ其合意ニ因リ住所ニ之ヲ爲シ及ヒ其住所ヲ裁判官ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ得可シ

荷第八十三條 哩第三十七條仲ニ同シ

英第八十三條 契約者ハ其双方ノ間ニ於テ若シ訴訟ノ起ル時ハ現住地ノ外更ニ他ノ住所ヲ擇定シ其住所ヲ呼出狀ヲ送達シ又ハ其住所ヲ裁判所ニ訴ヲ爲スヘキヲ約定スルモ妨ケナシトス

伊、迂、墨、魯、成文ナシ

第四百十條 臨時住所ノ擇定ハ債權者ノ利益ノ爲メニ爲シタル者ト推測スヘキ普通ノ住所ヲ除ク外但シ債權者ノ專一又ハ共同ノ利益ノ爲メニ之レヲ爲シタルヤノ訴訟アルヤハ此限ニ在ラス

皆成文ナシ

第十四章　失踪

第一節　失踪ノ推測

第四百十一條　一個人其住所ニ居所ヨリ七年以上音信ヲ絶チ其生死ノ分明ナラサル時ハ之ヲ失踪者ト推測ス

失踪ノ推測ハ本人ノ住所ノ地方裁判所ニ之ヲ申訴シテ判決ヲ受ク可シ

伊第二十條末期ノ住居若シ末期ノ居所ヨリ失踪セシ人ニシテ其後絶ヘテ消息ヲ知ル可カラサル者ハ失踪者ト推定ス

佛、荷、墺、迦、墨、魯、葉、成文ナシ

第四百十二條　失踪ノ推測ヲ受ケタル者總括代理人ヲ定メ置キタル時ハ其代理人ハ失踪ノ推測中本人ノ財産ヲ管理ス但シ裁判所ハ

事宜ニ依リ其解任ヲ宣告シ若クハ其後任ヲ
指定スルヲ得
伊第二十一條 委任者ノ失踪者ノ代理人ヲ留保セシニ非ルトキハ則チ管轄法衙ハ唯其代理人
カ代理事件ノ明文ニ依リ若クハ法律ニ依ヲ執行スルヲ得ル行爲ニ向フノ外其一切ノ爲
ヲ爲ス

佛荷蘭 巴婁 魯 英成文ナシ

第四百十三條 失踪ノ推測ヲ受ケタル者總括代
理人ヲ定メ置カサリシトキハ裁判所ハ現実ノ
利益ヲ有スル關係人推測ノ相續人及ヒ檢事
ノ請求ニ依リ其財産ノ管理人ヲ指定ス○
此管理人ハ成ル可ク本人ノ推測相續人ノ中
ニ就キテ之ヲ指定スルヲ要ス然レトモ現在
ノ配偶者ハ當然共通財産及ヒ自己ノ特有財

佛第百十二條 失踪ト思量セラレタル者ノ代理人アラサル時其遺留シタル財産ノ全部
又ハ一部ノ管理ヲ設備スルノ要アルニ於テハ關係各人ノ請求ニ依リ裁判所ニ於テ之ヲ
裁定スヘシ○第百四條 裁判官ハ失踪ト思量セラレタル者ノ利益ヲ監視スルヲ特別任
セラレ且ツ其者ニ關スル所ノ訴訟ニ付キ檢察官ノ意見ヲ聽カヘシ○第一百四條 財
産ヲ共通スル配偶者ハ若シ其財産共通ノ繼續ヲ擇ムノ時ハ假リノ占有及ヒ失踪者ノ
財産ニ依レル各種權利ノ假リノ執行ヲ防止シ而シテ他人ニ優レル擔取ニ依リ失踪者ノ財産
ノ管理ヲ受ケ又ハ之ノ備存スルヲ得可シ○若シ其配偶者カ財産共通ノ假リノ
解分ヲ求ムル時ハ其取戻ノ權利ハ其法律上及ヒ合意上ノ諸權利ヲ執行ス可キ
シ返還ス可キ物件ニ付テハ債訟人ヲ立ツルノ負任アリトス○歸ハ財産共通ノ繼續ヲ
擇ミタル時ト雖モ後ニ其共通財産ヲ抛棄スルノ權利ヲ保存ス可シ○
伊第二十一條 初項 失踪ヲ推定セル期間ニ於テハ其失踪者ノ歸期ノ住居若クハ其期ノ確所
ノ管轄法衙ハ若シ其失踪者ノ代理人ヲ留存セサリシニ於テハ則チ失踪者ノ財産ニ管理ヲ

有スル人若ク推定ヲ以テスル承産者若ク検事ノ請求ニ應シ裁判上ニ於テ失踪者或
理タラシムル爲メ或ハ失踪者ノ関係ヲ有スル財産目録ノ調製討要書及ヒ分配ニ関ス
失踪者ニ代理タラシムル爲メニ選挙スル一個人ヲ指定シ而テ失踪者ノ資産ヲ保存スルニ要スル一切ノ方
法ヲ施行ス
満第五百十九條　自己ノ住居ヲ去リ失踪セル者ノ代人ヲ任セサルニ因リ其遺留シタル財産ノ
全部又ハ一部ヲ支配スル可キ用意ヲ爲スノ必要アル時又ハ名代人ヲ任シタル時ト雖モ其ノ名代
人ヲ爲ス可キ期限ノ既ニ満チタルニ因リ其者ノ財産ノ全部又ハ一部ヲ支配スル可キ用意ヲ爲シ或
ハ名代人ヲ任スル事ノ必要アル時ハ失踪者ニ管係スル者又ハ検察官ノ訴訟ノ上其失踪者
ノ住所ヲ管轄シタル初審裁判所ヨリ管財人ヲ任ス可シ又失踪者ノ家資分産ヲ爲シ又ハ爲
債ノ資力ナキ時ハ特別ノ規則ヲ適用ス可シ
満第三十八條　人其住所又ハ寓留シタル場所ヨリ脱家セシ時ハ検察官ヨリテ其失踪ノ財産
ヲ管理セシ若シ失踪者本国ニ事又ハ名代人ヲ遣サヽル時ハ失踪者ノ利益ヲ保守ス
可キ後見人ヲ任ス

第四章　財産ノ管理

第五十條　本州中ニ財産ヲ有スル者失踪シ若ハ本州外ニ住居シ而メ自己ノ財産管
理スルヲ擔任スル者ヲ試ケ又ハ之ヲ擔任スル者ノ死去シ或ハ継続シテ財産ヲ管理スルヲ
ヲ得ス又ハ之ヲ管理スルヲ欲セサルニ於テハ其財産ヲ管理ス可キ管財人ヲ任ス可シ但第五十一條裁判官ノ管財人ヲ撰任スル時ハ最近ノ財産相続人ヨリモ
失踪者ノ婦ヲ撰ミ血属親ヲ最近ノ財産相続人ヨリハ血属親ヲ撰ミ又尚ホ失
踪者ニ管係キ者ヨリハ其失踪者ノ権利者ヲ撰ム可シ但シ此等ノ人ハ総テ管財人ノ必
要ナル身分ヲ要ス
第五十三條　何人ヲ問ハス危険ヲ厭ヒサル者ニ非サレハ敢テ失踪者ノ財産ニ関渉スルヲ
触ス但失踪者ニ関係アル若ハ失踪者ヨリ委任ヲ受ケシヲ其財産ニ干渉スル者ニ対シ
損害ノ償ヲ求メラルヽ事ナシ又失踪者ノ財産ヲ管理スル者アルモ純一ニ酬報又ハ信認上
ヨリ生スル所ノ行事ニシテ此財産管理失踪者ノ利益ト為ル場合ニ於テハ裁判所ノ允
債主ハ其権利ニ従ヒ失踪者ノ財産ニ就キ辺済ヲ得ントス訴フルヲ得但シ種々ノ場
合ニ於テ裁判所ヨリ名ヲ以テスルニ非サレハ之ニ應セサル者ニ対シ其辺済ヲ得ントスルニ定規ニ従

ニ於テ他ノ裁判上ノ手續ヲ爲スヿヲ得ヘシトス

辺魯成文ナシ

第四百十四條　代理人若クハ管理人ハ單ニ管理ノ權限ノミヲ有スル其他ノ行爲ニ付テハ必要ノ場合ニ限リ裁判所ノ允許ヲ得テ之ヲ爲スヿヲ得

代理人若クハ管理人ハ本人既得ノ利益ニ關係アル所ノ目錄調製計算分配及ヒ精算ニ於テ之ヲ代表ス

佛第百十三條　其裁判所ハ最モ先キニ手續ヲ爲ス者ノ請求ニ依リ其失踪ト異ナルヿヲ證スル書類ヲ以テ其者ニ代理スル爲メノ公認人一名ヲ委任スヿヲ得

伊第二十一條　我第四十三条ニ參看

荷第五百二十條　管財人ハ已レノ支配スヘキ財産ノ目錄ヲ製シ而シテ金銀貨ハ裁判上ノ預リ役所ニ之ヲ預ケ置クヿヲ得又動產ノ賣却後管財人ハ知者ノ財産ヲ支配スルノミニ管ス

規則ヲ履行スヿヲ得

墺第五十三條　知不失踪者ノ管財人ハ權力ハ全ク其管理ニ係ル所行ヲ爲スヿトシ而メ如何ナル口實アルヲ問ハス已レノ管理スル財産ヲ他ニ讓渡シ又ハ書入質ト爲スヿヲ得ス

墺辺魯英成文ナシ

第四百十五條　裁判所ノ指定シタル管理人ハ檢事ノ立會ニテ公證人ヲシテ失踪者ノ動產及ヒ記書ノ目錄ヲ調製セシムヘシ又管理人ハ其不動產ノ狀況ヲ確定セシムル爲メ裁判所ニ鑑定人ノ指定ヲ請求スルヿヲ得其報告書ハ裁判所ノ認可ニ付スルヿヲ要ス此等手續ノ入費ハ本人ノ財產ヲ以テ支辨ス

此規則ハ推測相續人其他關係人若クハ檢事ノ請求ニ依リ本人ノ定メ置キタル代理人ニモ之ヲ適用スルコトヲ得

荷蘭五百二十一條　管財人ハ已レヲ管財ノ職ニ任セラレタル裁判所ニ毎歲計算ノ要書書ヲ差出スヘシ若シ接察官失踪者ノ利益ヲ爲ルヲ認ムルトキハ裁判所ハ則チ其利益トナルヘキ金額ヲ取計フヘシ而シテ裁判所ニ於テ右ノ計算書ヲ正確ノモノト認ムトキハ是ヨリ失踪者又ハ管財人ニ關係アル其管財人ニ對シテ行フコトヲ得ヘシ

同第五十二條　失踪者ノ財產ノ管理ヲ任セラレタル者ハ善良ニシテ且ツ實着ニ財產ヲ管シ又有權者ニ對シ管理ニ付テノ計算ヲ爲スヘキ理由ヲ示スコトアルトキハ裁判官又ハ裁判官ヨリ最初特別ニ任セラレタル公吏人ヲシテ已レノ管理スル財產ニ付善良ニシテ且ツ實着ナル評價目錄ヲ記セシメ又其管理ヲ委舍ナラレシ爲メ評價目錄ノ高ニ充タサル保記ヲ出スヘキヲ要ス

荷蘭五百二十二條　管財人ハ其職ノ報酬トシテ入額百分ノ二分半及ヒ費用ノ償額百分ノ一分半ヲ得ヘシ

同第五十三條　被管財人ノ其財產ヲ管理スル時後見人ニ若シキ義務及ヒ責任ヲ負擔シ且ツ被管ヲ出スヘキノ外ハ其勤勞ノ償トシテ每年受取ルヘキ謝金ヲ後見人ニ等シキモノトス

佛伊嗹、邊、魯、葡成文ナシ

第四百十七條　失踪ノ推測中ニ於テ現在ノ配偶者其共同子ノ嫡因若クハ營業ノ爲メ資財ヲ異ニスルニ至リタル夫婦財產契約ノ事ニ立ヒテハ現定ヲ

第四百十六條　代理人若クハ管理人ハ裁判所ノ定メタル給料ヲ受ケ其管理及ヒ財產返還ノ擔保トシテ保記人又ハ相當ノ抵保ヲ立ツルヲ要ス

失踪者ノ前婚又ハ廃嫡子ノ嫡嗣若ハ営業為
第四資財ヲ異ニスル旨ヲ附言シ第三百七十六條ヲ適用ス
但者皆此文中ノ子ノ婚姻若ハ営業ノ為メ
第四百十六條 検事ハ時ニ失踪者ノ推測ヲ変ゼサル者ノ
保護ニ任シ一般ニ関係アル請求ニ付テハ其意
見ヲ陳スルヲ要ス
佛第百卅條第四百十三条参看
荷伊西班牙墨国 例文ナシ

第二節 失踪ノ宣言

第四百十九條 失踪者代理人ヲ定メ置カサル
トキハ満三ヶ年又其代理人ヲ定メ置キタルトキ
ハ其任期ノ長短ヲ問ハス満六ヶ年ニ至ルモ
其生死ノ音信ヲ得サルニ於テハ失踪者ノ利
害ニ関スル権利ヲ其財産上ニ有スル者ハ
住所ノ地ノ裁判所ニ失踪ノ宣言ヲ請求スル
コトヲ得
佛第百十五條 人ノ其住所又ハ其居住ノ地ニ現出スルコトヲ止メ且ツ如何ナル
消息ヲ得サル時ハ関係各人ヨリ失踪ノ公告ヲ得ンカ為メ始審裁判所ニ上訴スル
ヲ得可シ○第百二十條 若シ失踪者ノ代理人ヲ遺置シタル時ハ其家出以来又
ハ其最後ノ消息以来満十年ノ後ニ非サレハ其思量ノ相続人失踪ノ公告及ヒ仮
リノ占有ヲ得ント訴フルコトヲ得ス○第百二十二條 代理者位ニ止マラル時モ亦右ト同一

ス可シ但シ此場合ニ於テハ本巻第一章ニ記シタル如ク失踪者ノ財産ハ管理ノ設備ス可シ

伊第二十二條　失踪ヲ推定セルヨリ三年ノ以後（若シ失踪者カ其資産ヲ管理スル為メ代理人ヲ留在セシニ於テハ則チ六年ノ以後）ハ推定ヲ以テスル推規兼産者遺贈遺産者及ヒ失踪者ノ資産ニ對シテ其死亡ニ関係スル権理ヲ有スル人ハ管轄法衙ニ向テ失踪ノ公告ヲ為スコトヲ請求スルヲ得可シ

荷第五百二十三條　上段若シ失踪者其名代人ヲ立テス又ハ自己ノ住所ヲ變更シテ失踪セシ時又ハ最終ノ消息有リシ時ヨリ五箇年ヲ經過スルニ於テハ有権者ハ訴求ト失踪者ノ住所ヲ管轄シタル裁判所ノ許可ト因テ失踪者ノ配偶者ハ其失踪セシ配偶者ニ對シテ遅クモ三ケ月以内ニ裁判所ニ出頭ス可キ呼出ノ公告ヲ為ス可シ

嘩、巴、曼、魯、英、成文ナシ

第四百二十條　此請求ノ允許ス可キモノナルヤ否ハ裁判所ハ其訴擾書類ニ拘ラス失踪者ノ住所及ヒ最後居所ノ地ニ於テ検事ト對審ニテ訴人訊問ヲ聞クヲ俟テ此訴人訊問ニ付テハ訴訟法ニ定ムル期限及ヒ忌避ノ規則ヲ適用セス

伊第百十六條　其裁判所ハ失踪ヲ証明スル為メ其差出シタル訴状物及ヒ訴書類ニ拠リ住所ノ郡ニ於テ検事ト對審ニテ訴人訊問ヲ為ス可キヲヲ命令シ若シ其住所ト居住ノ地ト相異ナル時ハ其居住地ノ郡ニ於テモ検事ト對審ニテ訴人訊問ヲ為ス可キヲヲ命令ス可シ

伊第二十三條　初項若シ失踪公告請求ヲ允許ス可キニ於テハ則チ管轄法衙ハ其失踪者ノ捜索ヲ為ス可キヲヲ宣告ス

荷第五百二十五條　末段裁判所ハ第五百二十三条ニ確定シタル期限ノ外更ニ五年ヲ猶豫シテ裁判言渡ヲ為シ且ツ新聞紙上ニ呼出ノ公告ヲ為ス可キ言渡ヲ為スコトヲ得可シ

嘩、巴、曼、魯、英、成文ナシ

第四百二十一條　証人訊問ヲ命スル判決ノ宣告アリタル時ハ検事ハ直チニ其判決書ノ謄本ヲ司法大臣ニ進達シ司法大臣ハ速ニ其判決ヲ公示スヘシ

御第百十八條　検事ハ豫審裁判若ニ確定ノ裁判アリタル時ハ直チニ其裁判書ヲ司法卿ニ送呈シ司法卿ハ其裁判書ヲ公ケニ為スヘシ

伊第二十三條　二項三項失踪者ノ捜索ヲ為ス命令ノ宣告書ハ之ヲ失踪者ノ末期ノ住居若クハ末期ノ居所ノ戸外ニ掲貼セシムヘシ且其宣告事由ハ請求ヲ為シタル各人及ヒ失踪者ノ代理人ニ通スヘキ者トス若シ宣告第八月ノ陽ヲ以テ本管轄内ノ裁判所ニ属スル廣告新聞及ヒ主國公報ニ掲載スル二回ヲ以テ之ニ代フ

尚第五百十三條　二段　若シ失踪者又ハ其代人呼出ノ為メニスル定日ニ出頭セサルニ於テハ前ニ記シタル期限ヲ設ケテ第二回又ハ第三回ノ呼出ノ公告ヲ為スヘシ呼出ノ公告ハ新聞紙上ニ掲載シ且裁判所ノ入口又ハ失踪者ノ住居トスル家屋ノ表戸ニ貼付スヘシ

唯、巴、墨、魯、英、成文ナシ

第四百二十二條　裁判所ハ失踪宣言ノ請求ノ裁判ヲ為スニ當リ失踪ノ理由及ヒ失踪者ノ音信ヲ得ル妨碍ノ原由ヲ斟酌スヘシ

伊第百十七條　裁判所ハ其請求ヲ裁判スルニ付其他其失踪ノ理由及ヒ失踪ト思量セラレタル者ノ消息ヲ得ル妨ケトナルヘキ原由ニ注意スヘシ

荷第五百二十五条　二段　裁判所ハ失踪ノ原由ト消息ノ注達ニ障碍アル所以トヲ穿鑿スヘシ

墨第十二條　九ノ裁判官失踪者ノ財産ヲ仮リニ保有セントスル訴訟裁判ヲスル時ハ失踪スル原由ト失踪者消息ヲ居ル得サル原由トニ注意スヘシ

伊、唯、巴、魯、英成文ナシ

第四百二十三條　失踪宣言ノ判決ハ訴人訊問ヲ命シタルヨリ一个年ノ後ニ非サレハ之ヲ

宣告ス可ラス

此判決ハ第四百二十一條ノ手續ニ從ヒ之ヲ公示ス可シ

佛第百十九條 失踪公告ノ裁判ハ訴人訴狀ヲ呈シ會シ裁判ヲ經タル後ニ非サレハ之ヲ為ス可カラス

伊第三四條 其搜索期間ヲ滿了シ第二回ノ公告ヲ為スヨリ六月ノ以後ニ於テ管轄法衙ハ始メテ失踪公告ノ請求ニ對シ失踪ノ宣告ヲ為スコトヲ得

ハ則チ第三百三條ノ例文ニ從ヒ之ヲ通知シ及ヒ之ヲ公告ス

荷第五百二十四條 若シ之ヲ三回ノ呼出ノ公告ヲ為スモ失踪者又ハ其ノ代人ノ出頭セサル時ハ裁判所ニ於テ檢察官ノ申立ヲ聽キシ後チ失踪者ヲ死去セシ者ト思料スル值ニ死去セシ者ト思料スル可キ時日ヲ失踪者ノ失踪セシ時又ハ其消息ノ止ミシ時ヨリ起算スル可シ但シ其死ヲ推測スル可キ時日ハ裁判言渡ヲ確定スル可シ

嘆辺黙耳爾成文ナシ

第三節　失踪宣告ノ効果

第四百二十四條　失踪宣言ノ裁判ヤリタル後失踪者ノ遺囑書ハ關係人又ハ檢事ノ請求ニ依リ之ヲ開封ス可シ失踪者ノ配偶者其ノ他又ハ最後音信ノ日ニ於ケル推測相續人其他失踪者ノ死去ニ發起スル權利ヲ其財産上ニ有スル者ハ相續ノ開始シタルカ如ク直チニ其權利ヲ行フヲ得

佛第百二十條 失踪者ノ其財産管理ノ為メ代理人ヲ遺置セサル場合ニ於テハ其家出ノ日又ハ其最後ノ消息ヲ得タル日ヨリ失踪者ニ屬シタル財産ノ假リノ占有ヲ得クルヲ得可シ但シ其管理ノ抵當ノ為ノ保証人ヲ立ツルノ責任アリトス○第百二十三條思量相續人ノ假リノ占有ヲ得タル時ハ遺囑書ノ存在スルニ於テハ關係者又ハ裁判所檢事ノ求メニヨリ之ヲ開封シ受遺囑者受贈者並ニ總テ失踪者ノ財産ニ付キ其死去ニ依ル權利ヲ有

日ニ於ケル其思量ノ相續人ハ失踪ノ公告ニ確定ノ裁判ヨリ擾ノ失踪者ノ生発ノ日又ハ其最後ノ消息ノ得タ日

スルヲ人ニ假リ其權利ヲ執行スルヲ得可シ但シ保証人ヲ立ツルヲ要セス（旧第百四十條）

第百二十四條　或ハ第百十三條各項ノ失踪者ノ財産相續ヲ爲シ又ハ其屬親ノ遺留セル時ハ其配偶者勤産ノ假リ占有ヲ得ント訴求スルヲ得可シ（旧第百二十六條）

第百二十五條　初項二項三項失踪者宣告ノ第二回ノ公告ヨリ六月ノ後管轄法衙ハ失踪者ノ還歸書ヲ得シニ非ラスンハ則チ失踪者ノ財産ニ付テ雜理ヲ有スル各人ノ請求若クハ檢事ノ請求ニ應シテ之ノ拂渡スルヲ指令スヘシ失踪者ノ推定家産者又ハ遺囑家産者又ハ遺囑家産者ヲ以テ其死生ニ關シテ消息ヲ絶シタル日ニ死去セシニ於テハ則チ推定家産者タル可キ人若クハ失踪者ノ立相家産者ハ失踪者ノ財産假有ノ宣告ノ請求スルヲ得可シ又受遺者受贈者ハ失踪者ノ財産ニ付テ其死亡ニ關係ヲ有スル一切ノ人ト一般ニ家産者ト其ニ其權理假有ノ過可ヲ請求スルヲ得可シ（旧失踪者ノ配偶者ハ婚姻上ノ財産契約及ヒ家産法ニ依テ自己ニ歸屬スル權理ノ外ニ於テ若シ給養費ヲ要スルヿ有レハ則チ法衙ニ向テ之ヲ請求スルヲ得可シ）而シテ其給養費ハ家屬ノ等位ト失踪者ノ資産ノ數額トニ照准シテ以テ之ヲ指定ス可キ者トス

前第五百二十八條初段失踪者ノ最親ノ財産相續人ハ第五百二十四條ニ確定セル時日ニ贈遺ノ名義又ハ相續ノ順序ニ因テ財産相續ヲ爲ス可キ權利ヲ有スル人ノ其財産ノ保有權ヲ得ント欲スルニ於テハ失踪者ノ當初人ニ對シテ財産ノ計算又ハ引渡ヲ請求スルヲ得可シ

連第三十九条上段或ハ限ノ後失踪者其消息ヲ爲サヽリシ其生存疑ハシキ時ハ其財産相續人ハ失踪者ノ其歸家ノ日迄ニ所有シタリシ財産ヲ假リノ保有ト爲スヿヲ得可シ

第第五十八條　佛第百三十條左ノ如シ五年以降失踪者ノ消息ナキ時ハ失踪ノ宣告ヲ可ヿ裁判言渡ヲ要セス）ヲ加フ

英第八十四條一般ニ失踪者ハ其生存ニ反スル証拠アル迄ハ生存スル者ト看做スト雖モ其失踪時間非常ニ遠隔スル時ハ死去セシ者ト看做スヿヲ得可シ其相續人或受贈者ハ失踪者ノ遠隔書アル時ハ之ヲ裁判官ノ検閲ヲ受ケ其遺留財産ヲ以テ有ス可キ裁判言渡ヲ受クルヿヲ得可シ

迄、當然文ナシ

第四百二十五條　失踪者ノ財産占有ニ付テハ相續ノ規則ヲ準用ス

此占有ヲ得タル者ハ第三者ニ對シ其財産ノ所有者トス

然レトモ占有者ハ財産保護ノ擔保トシテ裁判所ヨリ相當ト認ムル保証人又ハ抵保ヲ立ツルコトヲ得若シ之ヲ立ツルヲ能ハサルトキハ動産ニ付テハ裁判所ノ命スル利用法ヲ爲サヽルヲ得ス其保証人ノ義務又ハ抵保ハ滿十五ケ年ノ後當然止ム

佛第百二十五條　假リノ占有ハ物託ノ上ニ過キスシテ其假リノ占有ヲ得タル者ニ失踪者ノ財産ヲ管理セシメ而シテ失踪者ノ更ニ現出シ又ハ其消息ヲ得ル場合ニ於テ失踪者ニ對シ訴訟ヲ爲スヲ可キノ義務ヲ負ハシムル點ニ於テ第百二十六條假リノ占有ヲ得タル者ハ財産占有ノ繼續ヲ擇ムヲ得サル點ニ於テ第百二十七條假リノ占有ヲ得タル者ハ始審裁判所ノ權衡ヲ以テ裁判所ノ面前ニ於テ失踪者ノ動産及ヒ証券ノ目録ヲ作ラシメサル可カラス又其動産全部又ハ一部ヲ賣却スル可キ時ハ裁判所ヨリ其賣却ヲ命スル點ニ於テ第百二十四條失踪ノ告知裁判ノ後ハ其失踪者ニ對シテ執行ス可キ權利ヲ有スル者ハ財産ノ占有ヲ得ル者又ハ財産ノ法律上ノ管理ヲ得ル者ニ對スルニ非サルハ其權利ヲ訴フルヲ得スト雖モ第百二十九條但シ其管理ノ抵保ノ爲メ保証人ヲ立ツルノ責任アリトスト雖モ第百二十三條ニ依リ假リノ占有ヲ得タル者ハ前條ニ記載シタル者輩ノ人ト一般ニ管理法律ノ指定スル保証金ヲ提供スルニ非サレハ如何ナル失踪者ノ財産ノ占有若クハ其權理ノ使用ヲ認可セラレサル者トスト雖モ第二十七條若シ推定ニ依テ其權利ヲ有スル者ノ中ノ一人カ保証金ヲ提供シ能ハサル者ナルトキハ其人ノ身位ニ其失踪者ニ對スル血属及ヒ其他ノ情況ヲ酌量シテ以テ失踪者ノ利益ヲ保護スル爲メ必要ト判定スル所ノ諸般ノ方法ヲ施行ス

第三十八條　財産假有ノ命令ハ其ノ命令ノ發セラレタル人及ヒ失踪者ノ家産者ヲシテ失踪者ノ財産ノ管理裁判上ニ於テ其財産ヲ處分セシムル權利及ヒ後条ニ設定スル制限ニ從ヒ收穫ノ使用スル權理ヲ得セシムル者トス

第三十九條　假有ノ命令ヲ發セラレタル人ハ失踪者ノ動産物件ノ目錄書及ヒ其不動産物件ノ明註書ヲ錄製セサル可カラス○法衙ノ許可ヲ得ル非サレハ失踪者ノ不動産物件ノ轉付ヲ若クハ書記抵物ヲ爲シ若クハ普通管理ノ制限ノ踰越スル行爲ヲ爲スヲ得可カラス○法衙ハ時ニ或ハ動産物件ノ全部若クハ一部ノ轉付ヲ命スルヲ有ル可シ此ト雖モ其價値ヲ以テ實用ニ埋轉ス可キ者トス

第四十條　假有ノ命令ヲ發セラレタル以後ハ何人タルヲ問ハス失踪者ニ對シテ其假有ノ命令ヲ發セラレタル自己ノ証憑ヲ出ス可カラス○第三十六條失踪者カ若シ財産假有ヲ命令セラレタル以後三年ノ期間ヲ滿過スルモ尚ホ歸來セス又ハ若シ失踪者ノ生存ヨリ百年ヲ過ヒタル旨失踪者ノ最終ノ消息ヲ發シタルヨリ三年ヲ期過スルニ於テハ則チ法衙ハ失踪者ノ財産ニ向テ權利ヲ有ル人ノ請求ニ應シテ其財産確有ノ命令ヲ宣告シ併セテ保證人及ヒ其他ノ保証ヲ解除スルヲ宣告ス

荷蘭五百三十八條　未成年ノ最親ノ財産相續人ハ其財産ヲ破壞シ又ハ減蓋セシム可キヲ無キ方法ヲ以テ之ヲ保有ス而シテ若シ失踪者ノ歸來シ又ハ自己ニ優ル權利ヲ有スル財産相續人ノ出ル時ハ其財産ヲ物品ノ代償ニ返還シ又ハ財産ノ種類ニ因リ其代償ヲ渡サンカ為メ裁判所ヨリ認可セラレタル保証人又ハ充分ノ金額ヲ出ス可キ者トス○第五百二十九條保証人又ハ充分ノ金額ヲ出ス可キ時ハ他人ヲ以テ失踪者ノ財産ヲ管理セシメ不動産ハ第五百三十三條及ヒ第五百三十四條ノ規則ヲ循守シテ以テ之ヲ賣却スルヲ得可シ○第五百三十一條ハ贈遺ヲ受ル可キ者及ヒ失踪者ノ死後其財産ニ向テ權利ヲ有スル者ニ適用スルヲ得ス○第五百三十四條　失踪者ノ最親ノ財産相續人ハ財産分派ニ關スル規則ニ循ヒ假リニ財産ヲ分與スルヲ得可シト雖モ不動産ヲ賣却スルヲ得ス但シ此ト動産ハ双方相爭フ物ヲ人ニ陷託セシ者ト看做シ又ハ既ニ分與セル入額ト看做ス可シ

第五十六條　佛第百二十五條ニ合シ失踪者ノ財産ヲ假リニ保有スル者ノ出ス可キ擔保ハ其財産ノ管理不良ナルヨリ出ス可キ損失ノ高ニ超過セサルヲ要トス○加ノ第七條去歲始メテ其奴隷中ノ若干ヲ賣却スル必要ナルヲ以テ時ノ裁判官之ヲ賣却ス可キ言渡

ヲ為シ而メ其代價ハ堅固ナル方法ニ因リ利益ヲ生スヘキ用方ヲ為シ又ハ不動産或ハ奴隷ヲ購求スル為メニ用ユヘキヲ裁判官ヨリ言渡スヘシ

嘘迷、魯、英、墺文ナシ

第四百二十六條　若シ失踪者ノ現出又ハ音信ノ無リシ件ハ失踪宣言ノ効果ハ即時ニ止息ス

失踪者ハ其財産ヲ現狀ノ儘ニテ回復シ又占有者カ其處置行為ニ因テ不當ニ利益シタルモノヲ取還スヘキヲ得

佛第百二十一條　墺、若シ假リノ占有ノ間ニ失踪者ノ更ニ現出シ又ハ其生存ノ證ヲ得タル時ハ失踪公告シタル裁判ノ効ハ止息スヘシ百二十八條假リノ占有ノ言渡リ收益シタル者ハ失踪者ノ不動産ノ所有權ノ移轉又ハ書入質ト為スヘキヲ得ス百三十二條確定ノ占有ノ後ト雖モ若シ失踪者ノ更ニ現出シ又ハ其生存ノ証ヲ得ル時ハ自己ノ財産ヲ其現在ノ景狀ニ於テ取戻シ又ハ占有權ヲ移轉セシ財産ノ代金又ハ賣却ヒシ財産ノ代金ヲ益用シテ得ル所ノ財産ヲ取戻スヘシ

墨第七十條　前項ノ七十四條但書百二十八条ヲ百三十二条ニ同シ

伊第三十三條　和項上條及其後若シ財産假有ノ期向ニ失踪者ノ帰来スルヿ有リ或ハ其生存セルヿヲ明知スルヿ有ル時ニ於テ別ケ失踪者ニ其財産ノ還付シ且ヲ三十条ニ規定セル方法ニ照準シテ以テ其收額ヲ還付セサルヿヲ得ス

三十九條　若シ財産確有ノ余ヲ得タル以後ニ失踪者カ帰来スルヿ有ル或ハ其生存スルヿヲ明知スルヿ有ラス而シテ於テ別ケ失踪者ハ其財産ノ現時ノ形況ニ従テ之ヲ收回シ或ハ其轉有セル價直ニ付テハ支辨ヲ為サシメ或ハ此價直ヲ以テ得有シタル財産ヲ要求スルノ権理ヲ有ス

荷第五百三十七条　此不動産ハ至重ノ原因アルニ非レハ第五百四十條ニ確定セル期限前ニ賣却スルヲ得ス但シ裁判所ノ免許ヲ得ル時ハ此別ナリトス

墺第四十三條　若シ失踪者ノ其脫家ノ日ヨリ滿三十年間ニ帰来スル時ハ其財産ノ直ニ返還ヲ請求スルノ権利アリトス

其第六十八條　失踪者已ニ其財産ノ裁判ニ渡ニ因リ其相續人ノ所有ニ帰シタル後見ハシ出ツル時ハ此財産ヲ復有スルノ權及ヒ通常ノ訴權ニ因リ此財産ヨリ生セシ利益等ヲ訴求スルノ權又此財産ニ於テ其價ヲ受クル時ハ其價ヲモ訴求スルノ權アリトス是此權利ヲ行フニ付テハ一切ノ制限ナキ者ノ如シ

辺實成文ナシ

第四百二十七條　然レトモ果實ニ付テハ失踪者其七失又ハ最後音信ノ日ヨリ滿十五ケ年前ニ現出スルトキハ其五分ノ一又滿十ケ年後ニ現出スルトキハ其十分ノ一ノヲ取還スルヲ得滿三十ケ年ノ後ハ果實ノ全部ヲ失フ

佛第百二十七條　假リニ若又ハ法律上ノ管理ニ依リ失踪者ノ財産ヲ收益シタル者ハ失踪者ノ其家出ノ日ヨリ滿十五年ニ至ラサル前ニ更ニ現出スルニ於テハ其入額ノ參分ノ一ヲ失踪者ニ還ス又十五年後ニ更ニ三十年内失踪ノ後ハ入額ノ全部

其第六十八條ノ原文ニ
其十五年ヲ以テ還スニ及ヒ又ハ三十年間失踪ノ後ハ入額ノ全部ハ其者ノ屬ニ可ト

伊第三十條　財産假有ノ訴ヲ得サル先親後親及ヒ配偶者ハ其收額ノ全部ヲ自己ノ利益ト爲スコト第三十條　若シ財産假有者ノ六等以内ノ親屬タルニ於テハ則チ失踪ノ本日ヨリ十年間ハ其收額ノ五分ノ一ヲ所有シ再後三年ニ至ルマテハ其十分ノ一ヲ所有セサルヘカラス六等以外ノ親屬タル人及ヒ親屬ニ非サル人ハ十年間ハ其收額ノ三分ノ一ヲ所有シ再後三年ニ至ルマテハ其六分ノ一ヲ所有セサルヘカラス三十年ノ期間ヲ滿過スルニ於テハ則チ何等ノ時ニ至ルヲ問ハス其收額ノ全部ハ假有者ニ歸屬ス

荷第五百三十八條　若シ失踪者ノ第五百二十四條ニ確定セル日ヨリ起算シテ十五年以内ニ歸來スルニ於テハ其失踪者ノ財産ヨリ生シタル利益ノ半分ヲ失踪者ニ返還シ又十五年ヲ過ルモ三十年以内ニ歸來スルニ於テハ四分ノ一ヲ返還スヘシ若シ財産假額僅少ナル時ハ裁判所ニ於テ失踪者ノ財産ヲ假有スル人有ルヘキ者ノ爲メ此規則ヲ變更スルヲ得ヘシ第五百四十二條　若シ失踪者ノ歸來スル時又ハ死去ノ思報セシ日ヨリ三十年ヲ經テ其生存ノ証ヲ得サル時ハ下仏第三十條ニ在リ但シ失踪者ハ利益又ハ

既ニ收入セシ金額ヲ取戻スノ權ナシ）ヲ加シ

獨逸舊法第百四十九條　若シ失踪者ノ財産相續人其失踪者ノ財産ヲ假リ已レノ物ト爲セシ後失踪者ノ歸來スルニ於テハ其財産相續人ハ左ニ記載スル比例ニ應シテ其財産ヲ生シタル實ノ金額ヲ返還スヘシ　五年內ノ中ニ歸來スル時ハ金額三分ノ二　十年內ノ中ニ歸來スル時ハ金額ノ二分ノ一　十年ノ後ニ歸來スル時ハ三分ノ一　三十年內失踪ノ後ハ失踪者ノ財産ヲ假リニ僞有スル者ハ總ノ金額ヲ所得トス可シ

英國ハ十八條我第四百三十六條參看

第四百二十八條　失踪者ノ親屬親ハ他ノ相續人カ財産占有ヲ得タルヨリ滿三十年間其財産ノ返還ヲ請求スルヲ得

財産占有ヲ得タル相續人ヨリ最近ナル傍系ノ血族アル時亦同シ

右何レノ場合ニ於テモ果實ハ前條ノ規則ニ從ヒ之ヲ取還スルヲ得

佛蘭西第三十三條　失踪者ノ子及ヒ直系ノ親屬親ハ確定ノ占有ヲ得ヨリ起算シテ三十年內ニ於テハ前條ニ記シタル如ク其財産ノ返還ヲ請求スルヲ得可シ

累第七十五條同シ

伊第四十條　失踪者ノ子及ヒ其後親ハ財産確有ノ會有ヲ得ル以後ノ三十年ヲ滿過スレハ別ケ前條ニ揭記スル規則ニ照准シテ失踪者ノ死亡ヲ因テ自己ニ歸屬スヘキ權理ヲ要求スルヲ得可シ而シテ失踪者ノ生死ノ如何ニ復タ立ヲ記明スルヲ要セス

荷第五百四十條　前條ノ規則ハ第五百四十條ニ確定セル日ヨリ起算シテ三十年以內ニ失踪者ノ子及ヒ親屬親歸來スル時モ亦適用スルヲ得可シ

英國ハ十八條我第四百三十六條參看

第四百二十九條　失踪者死去セタルヤノ確証アル片ハ其相續ハ死去ノ日最近ナル相續人

ノ為メニ開始スヘキ其相續人ハ相續開始ノ日ヨリ滿三十年間相續財産ヲ請求スルコヲ得

失踪者ノ財産ヲ占有スル者ハ之ヲ返還セサルヘカラス但シ第四百二十七條ニ依リ獲得シタル果實ハ此限ニ在ラス

佛第百二十九條　若シ假リニ占有ヨリ三十年間失踪ノ繼續シ又ハ財産ヲ共通シタル配偶者ノ其失踪者ノ財産管理ヲ始メタル時ヨリ三十年間失踪ノ繼續シタル時又ハ失踪者ノ出産ヨリ滿百年ヲ經過シタル時ハ假訴人其義務ノ免除ヲ得ヲ占有權ヲ失踪者ノ財産ノ分與ヲ訴求シ始審裁判所ヨリ確定ノ占有ヲ得ルヲ宣告セラルルコヲ得ヘシ

同百三十條　失踪者ノ財産相續ハ其死去ノ訴アル日ヨリ當時其最近親ノ相續人ノ利益ニ於テ之ヲ開始スヘシ其失踪者ノ財産ノ收益シタル者ヨリ第百三十七條ニ拠リ獲得シタル果實ヲ財布ヨリ其財産ヲ返還スヘシ

荷蘭五百四十條　第五百四十一條　累第七十一條　第七十二條　佛ニ左ノ

伊第三十六條　我第四百三十五條　若シ財産確有ノ命令ヲ得タル以後ニ失踪者ノ死セシヿヲ日時ヲ知得セサルニ於テハ則チ失踪者ノ現時ノ家産者及遺者若クハ其死ニ關係アル權理ヲ有スル人若クハ又此等ノ人ノ財産者自己ニ歸屬スル占權ヲ行用スルヿヲ得ヘシ但占有者カ期滿法ニ依リ得有スル權理及ヒ既ニ收取セル收穫ニ關シ良慕ヲ以テセル動力ハ依然存在スル者トス

墺第四十條　裁判言渡ノ後ニ至リ失踪者ノ歸産又ハ便リ財産相續人ノ出現スルヿアルモ財産ノ數ノ全部ニ最初ニ出訴シタル官僚ノ屬シタル時ハ味シテ其ノ額ノ取戻ヲ爲シ得ス又失踪者ノ其脫家ノ日ヨリ滿三年間消息ヲ告セスシテ又ハ其ノ生存ノ訴ヲ立テスシテ經過シタル時ハ其財産相續ノ當然ノ權利ヲ全リ且有スヘキ財産相續人ノ爲メ立ノ始ムヘシ

英第八十六條　失踪者ノ死セシヿヲ推測ノ爲シ得ヘキ時ハ失踪者ノ權理ニ關係アル者ハ財産ヲ所有スヘキ裁判言渡ヲ後リ且ヘシ然レトモ失踪者ノ權理ヲ保護セン

為メ三年間其成像者ヨリ偽証人ヲ立テシメル者ノ如シ（第八十七条失踪者ノ死亡ハ如何ナル時限ニ於テ之ヲ定ムヘキヤノ議論ハ其死亡セシト推察スル景況ニ従ヒ衡平裁判所ノ調査ニ委ス普通法或裁判所ニ於テハ富豪ノ判定スル者ハ若シ確証ト為スヘキ景況ナキ時ハ失踪者ハ其失踪ノ日ヨリ七ヶ年ヲ経テ死亡セシト做ス者ノ如シ（第八十九條失踪者死亡ト認ム外人ノ得ヘキ権理ハ前条ニ記ス失踪者ノ生存又ハ死亡ノ推定ニ就テノ規則ニ従フ定メリ

（仏、魯成文ナシ）

第四節　失踪ノ推測及ヒ宣言ノ両期ニ通用スル規則

第四百三十條　生存確実ナラサル人ニ帰シタル権利ヲ請求スル者ハ其人カ其権利開始ノ當時ニ生存セシヿヲ証明スルヿヲ要ス此証明ヲ為サヽル間ハ其請求ヲ受理スヘカラス

佛第百三十五條　何人ニ限ラス其生存ノ認定セラレサル者ニ属スル権利ヲ得ント欲スル者ハ其権利開始ノ時其者ノ生存シタルヿヲ立テサルヿヲ得ス但其証ヲ立テサル間ハ其請求ヲ受理セサルヿヲ得ヘシ

荷第五百四十五條　第七十七條ニ同シ

伊第四十二條　何人ニテモ知レ可カラサル人ノ属スル其偽有ル権理ヲ要求スルヿヲ得ス然レトモ其権理ノ起生シタル時日ニ於テ現ニ失踪者タル其人カ生存セシヿヲ証明スル如キハ此限リニ在ラス

嘘ニ、魯、英成文ナシ

第四百三十一條　生存確実ナラサル人ノ為メニ相續ノ開始スル時ハ其相續ハ之ト同順位ヲ有スル者又ハ其次キノ順位ヲ有スル者ニ属ス

失踪者ニ帰スヘキ財産ヲ相續スル者ハ其目録ヲ調製シ且第四百二十五條ニ従ヒ利用法ヲ定シ若クハ其返還ノ擔保トシテ保証人又ハ抵保ヲ立テサルヘカラス其保証人ノ義務又ハ抵保ハ満十五ヶ年ノ後止ム

佛ノ百三十六条　若シ其生存ノ認定セラレサル者ノ名鳴セラレタル財産相續ノ開始スル時ハ其者ノ相続競スル権利ヲ有スル各人又ハ其ノ者ノアラサル時ニ於テ財産相續及取スヘキ各人ニ乗リ其財産相續ヲ移転スヘシ

伊第四十三条　一個ノ遺産分配ノ開始ニ関シ一個ノ人ニシテ其實ニ生存スルヲ証明スヘキ者ノ其全部若クハ一部ヲ承継スヘキヲ有スルニ於テハ則チ其遺産ハ此人ト共ニ遺産ヲ承継スヘキ人若クハ此人ヲ欠クノ時ニ於テ承継スヘキ人ニ係ル財産習慣ノ権理アル如キハ此限ニ在ラス此人ヲ欠クニ因テ遺産ヲ承継スルノ人ハ其動産ノ目録普及ヒ不動産ノ明註書ヲ録製セサルヘカラス保全スヘキ告及ヒ其處置ヲ為スヘキヲ渡スヘシノ加ノ

嘘第四十条　失踪者其生存ノ証ヲ立テシテヨリ又財産相續人ノ出現シテヨリ清求シタルトキヨリ二十年以上失踪ノ継續スルニ於テハ財産分派ノ管理者ノ紹介ニ依リ出現スヘキ催促書ヲ失踪者並ニ其財産相續人ニ報知スヘシ而シテ実ニ出現スル者無キ時ハ其財産ハ之ヲ官庫ニ収藏スヘシ但第四十五条失踪者ノ為メノ財産相續ノ事アル場合ニ於テモ前条ト異ナルコトナシ但此場合ノ外ハ法律上ニ定メタル期限内ニ財産相続人ノ一般ノ招集ヲ公布シタル後出現シテ自ラ財産相続ヲ為スヘキ権利有ルノ証ヲ立ツル相続人ニ全ク其財産相續ヲ為サシムヘシ

辺、魯、英成文ナシ

第四百三十二條　前二條ノ規則ハ失踪者又ハ

嘩、仏、魯、英、成文ナシ

第四百三十一條　生存確実ナラサル人ノ為メニ相續ノ開始スル時ハ其相續ハ之ト同順位ヲ有スル者又ハ其次キノ順位ヲ有スル者ニ屬ス

失踪者ニ歸スヘキ財産ヲ相續スル者ハ其目録ヲ調製シ且第四百二十五條ニ依ヒ利用法ヲ爲シ若シハ其返還ノ擔保トシテ保証人又ハ

墨第七十八條　荷第五百四十六條ニ生存ノ分明ナラサル失踪者ニ屬スル可キ權利ヲ已レニ得ント訴フル者ハ其失踪者ノ死去ヲ確認スルニ足ルヘキ證據ヲ擧ケ裁判所ヲ經テ公告ヲ爲ス可キ旨ヲ裁判所ニ請求スル可シ裁判所ハ其請求ヲ容レサルトキハ其理由ヲ附シテ之ヲ却下スヘシ

裁判所ハ前項ノ公告ヲ爲スニ當リ失踪者ノ住所ヲ管轄スル裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

裁判所ハ第一項ノ公告ヲ爲シタルトキハ其公告ノ費用ヲ請求シタル者ヲシテ之ヲ負擔セシムヘシ

墨第七十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第八十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第九十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百二十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百三十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百四十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百五十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百六十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百七十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百八十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第百九十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百二十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百三十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百四十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十二條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十三條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十四條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十五條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十六條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十七條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十八條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百五十九條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百六十條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ其財産相續人ノ出現シタル場合ニ於テハ其相續人ハ裁判所ニ其旨ヲ通知スル可シ

墨第二百六十一條　失踪者ノ生存ノ証明ヲ立テスシテ

其相續人及ヒ承權人ニ屬スル相續ノ訴求其他ノ權利ヲ害スルヿ無シ此等ノ權利ハ普通ノ時効ニ依ルニ非サレハ消滅セス

佛第百三十七條　前二條ノ成規ハ失踪者又ハ其代人或ハ受權人ニ屬スヘキ財産相續請求ノ訴權及ヒ其他ノ權利ト相關ルヿナカルヘシト但シ此等ノ權利ハ期滿効ノ爲ニ定メラレタル時間ノ經過ニ依ルニ非サレハ消滅セサルモノトス

荷第五百四十七條　第四十九條同シ

伊第四十四條　前二條ノ條文ハ遺産要求ノ訴權及ヒ其他ノ權利ニシテ失踪者ノ代理人若クハ其受權者ニ歸屬スル所ノ者ニ抗阻ヲ爲スヿ無シ此權理ハ期滿法ニ規定スル期間ノ滿了ノ日ヨリ始メテ消滅スル者トス

辺、唄、魯、英成文ナシ

第四百三十三條　失踪者若クハ其相續人及ヒ承權人其權利ヲ行ハサル間ハ相續ヲ爲シ又ル者其善意ニテ收獲シタル果實ヲ保有ス

佛第百三十八條　財産相續ヲ取戻シタル者ハ失踪者ノ權利ニ依リテ訴權ヲ執行セサル間ハ其善意ヲ以テ收取シタル果實ヲ利得スルヿヲ得

墨第八十條　左ノ如シ

伊第四十五條　遺産ヲ承襲セル人ハ失踪者ノ歸來スル日若クハ自己カ失踪者ニ屬スル訴權ヲ施用スルヿヲ得ル日ニ至ル迄ハ良意ヲ以テ領收セシ收穫ヲ還付スルヿヲ要セス

荷第五百四十八條　若シ失踪者ノ歸來スル時ハ第五百三十八條ノ期限中ニ財産ノ取戻ヲ訴求スルヲ得ヘシ

唄第四十六條　失踪シタル財産相續人ハ其脫家ノ日ヨリ滿十五年ノ後ニ非サレハ其權利ヲ失フヿナシ而シテ期滿前ノ爲メ必要ナル五年ノ期限前ニ其財産相續人ノ死去シタルノ証ヲ立テシ時ハ其權利ハ尚ホ其家屬ノ爲メ存續スル者トス且ツ爲メニ財産ノ入數ヲ享有セシ者誠實ニ之ヲ爲シタル時ハ決シテ之ヲ取戻スヿヲ得ス又四十七條失踪者ノ財産相續人ノ其財産ノ入數ヲ享有スルヿヲ得ル場合ニ於テ失踪者

ノ婦ハ千八百五十年五月二十九日ノ官令ヲ以テ指定シタル法式ヲ行ヒシ後離婚ノ宣ヲ為スコトヲ得可シ

此、魯、英、成文ナシ

附錄　不在者ニ関スル規則

第四百三十四條　生存確実ナル者住所又ハ居所ヲ去リ其財産ヲ管理スル者アラサル時若クハ裁判所失踪ヲ認定セスト雖モ本人又在ノ為メ其財産棄置カレ、時若クハ失踪者失踪ノ推測中又ハ宣言後ニ其生存分明ト為リタル時ハ裁判所ハ関係人推測相續人又ハ検事ノ請求ニ依リ必要ノ保存處分ヲ命スルコトヲ得

佛第百三十一條末段失踪者ノ財産管理ノ為メ本巻ヲ章ニ定メタル保存ノ處置ヲ為スヲ可キ時ハ其處置ト相關ルコトナカル可シ

累第七十三條全シ

伊第三十三條　初項末段但第二十条ニ規定セル相續産ノ保存及ヒ管理ニ関スル届ヲ為サヽル者ニ之ヲ要スル時ハ即チ治ホ存在スル者トス

荷、洪、唯、魯、英、成文ナシ

第四百三十五條　帝國ニ住所又ハ居所ヲ有スル外國人失踪ニ其財産ヲ棄置キタル場合ニモ亦前条ヲ適用スルコトヲ得

皆成文ナシ

第十五章　身分證書

第一節　綱則

第四百三十六條　身分証書ハ各個人ノ身分ニ関スル事件ヲ記載スルモノニシテ其簿冊ハ身分取扱人之ヲ掌ル

身分取扱人ハ管轄市町村内ニ於テ其職ヲ行フ

伊第三百五十條　産生婚姻及ヒ死ノ各証書ハ其事件ノ起生セシ本邑ニ於テ之ヲ調製スヘキ者トス

荷第丁三條　各邑廳ニ於テハ出産婚姻ノ申述其公告及ヒ其執行離婚死亡等簿冊ヲ設クヘシ此等ノ簿冊ハ各種ニ付キ其地方ノ官吏中ヨリ撰ヒタル身分証書ノ官吏一名又ハ數名及ヒ之ヲ掌當ス

嗹第三十條上段　身分証書ノ官吏及ヒ僧官ハ各自ノ帳簿ニ出産第一聖餐礼

婚姻及ヒ死去等ヲ記入スヘシ

英第三十三条　近世ニ至ル迄ハ洗礼婚姻及ヒ埋葬ノ礼典ヲ記認スル為メ英国寺院僧官ノ簿冊ヲ以テ公正ナル記録トナセシカ今世ニ至リ制定法ノ由テ寺院ノ僧官及ヒ宗教規則ニ関セス此等ノ事ヲ記認スヘキ簿冊ヲ製作セリ

魯第百三十二条　我第百四十八條ニ参看

仏、辺、墨、蘇文ナシ

第四百三十七條　身分証書ノ簿冊ハ一個又ハ数個ヲ設備シ出生婚姻縁組及ヒ死去ノ証書ニ付テハ正本二冊ヲ調製シ其他種々ノ証書ニ付テハ正本一冊ヲ調製スヘシ

仏第四十條　身分証書ハ各邑ニ於テ二通又ハ一箇又ハ数個ノ簿冊ニ之ヲ記入スヘシ

伊第三百五十六條　民籍簿ハ必ス二ケ所ヲ設備スルヿヲ要ス

荷第十四條　簿冊ハ婚姻ノ申述及ヒ公告ノ簿冊ヲ除ノ外各二箇ヲ備ヘ置クヘシ

英第三十八条　民生証書ハ其簿冊ヲ郡轄庁ヨリ送付スル所ノ簿冊ニ記入スヘシ而シテ婚姻証書ハ簿冊ニ二冊ニ作製スヘシ

辺、墨、魯、蘇文ナシ

第四百三十八條　身分証書ニハ之ヲ作ル年月日時ト其証書ニ記載スヘキ人ノ氏名年齢族称職業住所及ヒ居所トヲ記載スヘシ

仏第三十四條　身分証書ニハ之ヲ記シタル年月日時ト其証書ニ記載スヘキ各人ノ姓名年齢職業住所トヲ表示スヘシ

荷第十八条同シ

伊第三百五十二条初項　民籍ニ関スル証書ハ次項ノ事件ヲ登記スル者トス其事件ハ云々

其身分ノ公言ヲ為シタル年月日邑廨年月日其公言ヲ受ケタル官吏ノ姓名身分

申明若ハ公言ヲ為セシ本人及ヒ証人ノ姓名年齢職業住居或ハ居所並ニ面ニ
テ其登記ヲ為スニ前項ノ事件ニ関スル書類ヲ供出セサル可カラス

唖第三十条ノ場合ニ於テハ代書人ハ各紙端ニ官吏ノ予メ署名ヲ為シタル
ニ非サレハ之ヲ帳簿ニ洗礼若ハ第一ノ聖餐礼ノ場所及ヒ月日ノ記載ヲ包含スル者トス

英第三十四條 佛三十四条 獨 但シ時限指定ヲ須要トスルヲ異ニス

辺黒、魯威文ナシ

第四百三十九條 身分記載ニハ法律命シタル
モノ、外何事タリトモ附記スルヲ得ス

佛第三十五條 身分取扱役ハ其記入シタル記載ニ出席人ノ申述セサル可カラサル所
ノモノ外何事タリトモ証解若クハ附従ノ記載トシテ記入スルヲ得ス

荷第十七条同シ

伊第三百五十五条 学籍或ハ民籍記載ヲ為スニハ唯各記載ニ向テ法律カ命令
シ若クハ許可スル公吉及ヒ重吉ノミヲ登記スル可キ者トス

英第三十五条 民生記載ヲ管掌スル官吏ヒ其職務ヲ以テ明記スルニ及ハサル別記ヲ以テ記
載ニ記入スル時ハ凡ソ之ヲ記入シタルニ等キ者トス

辺黒、魯威文ナシ

第四百四十條 身分記載ニ記載スル可キ事件ノ
届出人ハ記入ヲ同伴シ身分取扱人ノ面前ニ
於テ口頭又ハ書面ヲ以テ申述スル可シ
其申述ハ失踪死亡其他特別ニ規定スルモノ
ヲ除クノ外本人之ヲ為スヘシ

若シ本人家族ナル片ハ戸主若クハ其後見人
ヲ同伴シ又ハ其申述書ヲ添ヘテ之ヲ為スヲ可
シ但シ止ムヲ得サル場合ハ此限ニアラス

伊第三百五十条 民籍記載書及ヒ学籍或ハ面前ニ於テ為スヲ可キ公吉ハ男子ニ名
ノ証人ニシテ満二十歳ノ年齢ニ達シ同邑ニ居住スル者ノ臨同ヲ得テ以テ之ヲ領受

ス

仏、荷、嚊、辺、蒙、魯、英成文ナシ

第四百四十一條　本人斯ラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テハ公正ニシテ特別ノ委任状ヲ以テ任シタル代理人ヲ差出スコヲ得

佛第三十六條　関係各人自カラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テモ特別ニシテ且公正ナル委任状ヲ以テ代理人ヲシテ代理セシムルコヲ得可シ

伊第三百五十四條　民務訴訟ニ利益ヲ有スル人ハ其身親カラ臨同スルコヲ要セサル時會社ハ則公正ニシテ且特別ナル代理人ヲ以テ自己ニ替代セシムルコヲ得可シ

荷第十九條　本人自カラ出頭スルニ及ハサル時ハ特別又ハ公正ノ書ヲ以テ委任セル名代人ヲ出スコヲ得可シ

辺、嚊、蒙、魯、英成文ナシ

第四百四十二條　訴人及ヒ代理人ハ親族ト否トニ拘ラス日本人ニシテ成年ノ男子タル可シ

佛第三十七條　身分証書ニ出ス所ノ訴人ハ血属親タルト否トヲ問ハス二十歳ノ年齢ノ男ニ限ル可シ但シ其訴人ハ関係各人ニ於テ之ヲ撰ム可シ

荷第二十條同シ（訴人ハ王國内ニ住居スル者ヲ要スル本人ノ血属親ハ其訴人ト為ルコヲ得可シ）ヲ加ヲ

伊第三百五十条　我第四百四十条着

英第三十六條　民生訴書ノ訴人ハ男女ヲ問ハス又識実ニシテ其訴スル所ノ何事ナルヤヲ解別シ得可キ年齢ニ達セシ者タル可シ

嚊、辺、蒙、魯、成文ナシ

第四百四十三條　身分取扱人ハ届出人ノ申述ヲ受ケ訴人ノ面前ニ於テ直チニ其事件ヲ簿冊ニ記載シ之ヲ出席人訴人ニ讀ミ聞カセ共

ニ署名捺印スヘシ若シ出席人其氏名ヲ手署スルヿ能ハサル片ハ身分取扱人代署シテ捺印セシメ且ツ其旨ヲ附記スヘシ

其証書ニハ立ヲ読ミ聞カセタルヿヲ記載スヘシ

佛第三十八條　身分取扱役ハ出席人又ハ其代理人ト証人トニ其証書ヲ読聞カスヘシ且其証書ニ右ノ法式ヲ履行シタル旨ヲ記スヘシ且ツ第三十九条其証書ハ身分取扱役ト出席人及ヒ証人トニ署名スヘシ若シ其出席人及ヒ証人ノ署名スルヿ能ハサル時ハ其事由ヲ記スヘシ

荷第三十条同シ

伊第三百五十二条　去現掌務吏ハ其証書ヲ朗読シ此法式ヲ履行セシヿヲ登記スヘシ

三百五十三条　民籍証書ハ申明者証人及ヒ掌籍吏カ之ニ記名スヘシ若シ申明者若クハ証人カ記名スル能ハサルニ於テハ其記名セサル事由ヲ記証スヘシ

英第三十七条　各證書ニハ其簿冊ヲ管守スル官吏及ヒ出席スル者ノ手署アルヲ要ス

ト雖モ若シ出席スル者已レカ姓名ヲ記スルヿ能ハサル片ハ十字架又ハ他ノ記号ヲ畫シ而シテ証人ハ此出席スル者ノ為ニ手署セシ旨ヲ記証スヘシ民生証書ハ之ヲ負印ノ者ト為スヿヲ要セス

独、巴、墨、魯、成文ナシ

第四百四十四條　身分取扱人ハ身分証書ノ記載ニ従ヒ簿冊毎ニ氏ノ「イロハ」順ヲ以テ氏名種目番號ヲ摘記シタル見出目録ヲ作リ添ヘ置クヿヲ可シ

墨、成文ナシ

第四百四十五條　身分取扱役ハ此身分証書ノ外別ニ戸籍ヲ設備シ身分証書ニ據リ各戸ヲ區別シ戸主家族ヲ編錄シ其變牾ヲ簡明ニ

記載スヘシ但シ其編綴ノ法ハ特別法ノ定ムル所ニ従フ

（旧民訴二百九条、仲裁法三四条参看）

第四百四十六條　身分証書ノ簿冊ハ公用罫紙ヲ以テ調製シ其記載ヲ爲ス前ニ地方裁判所長若クハ其代理判事之ヲ検閲シ其紙数ヲ表紙ノ裏面ニ掲記シ之ニ官氏名ヲ署シ官印ヲ捺シ初葉ト末葉トニ記騅ヲ附シ且ツ毎葉ノ綴目ニ契印ヲ捺スヘシ

（仲第四十條、其簿冊ハ始審裁判所長又ハ之ニ代ルヘキ裁判官其初ト終トニ番騅ヲ附シ且ツ各葉ニ花押ヲ附スヘシ）

（荷第十五条左ノ如シ）

（伊第三百五十七条　民籍公簿ハ民籍記載ヲ爲スノ前ニ於テ民事裁判所長若クハ其代理タル裁判官之ヲ検閲シ而シテ其末尾ニ其官氏名ヲ署シ且ツ毎葉ノ綴目ニ其印章ヲ押捺スヘシ

其第二葉ニ明記スル裁判所長若クハ其代理裁判官ニ於テ公簿ヲ編成セル紙葉ノ数ヲ其末葉ニ附記スヘシ

（英第三十九条　民生簿冊ハ其各葉ニ番号ヲ附シ而シテ各記書ハ其印刷罫紙ニ之ヲ記スヘシ

嘩、迦、墨、魯成文ナシ）

第四百四十七條　身分記書ハ其簿冊上日次ヲ逐ヒ空行ナク連続シテ記載スヘシ

擦外ノ追記ハ記書ノ本文ト同シク出席人及ヒ身分取扱人共ニ之ヲ承認シテ署名捺印スヘシ

身分記書ヲ作ルノ際錯誤脱漏ヲ発見シタル時ハ其所ニ誤脱ヲ記入シタル上其字数ヲ擦外ニ記載シ身分取扱人出席人ト共ニ之ニ捺印

ス可シ但シ其消スヘキ文字ハ之ヲ線抹シ尚ホ讀得ヘキヲ要ス

佛第四十二条　記書ハ其簿冊ニ毫モ空白ヲ相連接シテ之ヲ記スヘシ○塗抹及ヒ端書ハ記書ノ本文ニ同ク之ヲ認記シテ署名スヘシ○其記書中ニ畧語ヲ記スヘカラス又其日附ハ數字ヲ以テ記スヘカラス

伊第三百五十八条　民籍公簿ハ順序ヲ追テ民籍記書ヲ登記シ決シテ空白ヲ存スルヲ許サス○又字ヲ空抹シ及ヒ參照ヲ附記スルハ民籍公簿ヲ完結スル以前ニ於テ公認ヲ受ケ可キ者トス○凡テ簿記ハ略体ノ文字ヲ用ユルヲ禁ス又其記日ハ唯數字ノミヲ以テスルヲ許サス

荷第十六條　仏第四十二条ニ定メタル第七十条身分記書ノ簿冊無キ時或ハ其記書ヲ拭滅シ或ハ其記書ニ誤脱漏又ハ他ノ缺典有ル時ハ之ヲ改正スヘシ

英第四十条　民生記書ハ其簿冊ニ追次相連接シテ之ヲ記スヘシ○第七十六条出産婚姻及ヒ死去ノ記書ヲ簿記スル主任者ハ其記居ノ之面ニ錯誤アルヲ見出セシ時ハ其ケ月内ニ出産セシ子ノ親族或ハ婚姻セシ者ノ又ハ死亡ニ出會セシ第二名ノ面前或ハ此親族者ノ父母ノ死亡後又ハ右ノ場合ニ於テハ簿冊管守副長官及ヒ証人ノ面前ニ於テ改記書ヲ更改セント時ハ罰金ノ言渡ヲ受ケシ此更改ハ書餘白ニ改ヲ處スヘキヲ其錯誤アリシヲ以テ敢テ改物書ヲ改作スルヲ禁シ又之ニ右ヲ其更改ノ月日ヲ記シ及ヒ之ニ自署スヘシ又綴ヲ婚姻證書ヲ編入スル簿冊及ヒ其記書ニ関スル諸係記書ニ右ヲ始シテ此更改ヲ為スヘキ者トス

嘩、巴、墨、魯成文ナシ

第四百四十八條　身分記書ニ記載スル文字ハ明瞭ニシテ讀ミ易キヲ要ス又年月日時及ヒ年齢ニ係ル數字ハ一二三六八十ノ字ニ限リ必ス壹貳參ニ陸捌拾ノ字ヲ用ユヘシ

仏、伊、荷、我第四百四十七条參考

嘩、巴、墨、魯、英成文ナシ

第四百四十九條　本人住所外ノ地ノ身分取扱人身分証書ヲ作リタル片ハ十日内ニ其謄本ヲ本住所ノ身分取扱人ニ送付シ其送付ヲ受ケタル身分取扱人ハ直ニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

身分取扱人ハ管外追記ヲ為スヘキ場合ニ於テ其役所ニ原記書ヲアラサル片ハ其原記書ノ存スル所ノ身分取扱人ニ其追記ノ事ヲ通知スヘシ

伊第三百九十七条　若シ其ノ人カ其居所ニ非サル他ノ場所ニ在テ死亡シタルトキハ其死亡ノ分ニ付テ欽受スヘキ書類ハ十日以内ニ其死亡者カ居所ヲ有スル本邦ノ官署ニ送付セサルヘカラス

仏、荷、独、伊、墨、典、成文ナシ

第四百五十條　身分取扱人ハ毎年十二月末日ニ於テ最終ノ記書ノ後ニ閉結ノ旨ヲ記シ署名捺印シ正本二冊ノ内一冊ハ其役所ニ保藏シ一冊ハ翌年一月中ニ地方裁判所ノ検事局ニ差出スヘシ但シ正本一冊ノミノ簿冊ハ其役所ニ保藏スヘシ

身分証書ニ添ヘ置ク申述書及ヒ其他ノ書類ハ身分取扱人其都度出席人ト共ニ署名捺印シ其書類ノ数ヲ本證書ニ附記シ之レヲ整頓シテ検事局ニ差出スヘキ簿冊ニ附添スヘシ

書記官ニ藏ムヘシ

荷第二十三条　第二十四条合シ

伊第三百六十条　営業其他年末ニ於ケル最後ニ民籍台簿ニ登記スル戸籍証書後尾記

第四百四十九條　本人住所外ノ地ノ身分取扱人身分証書ヲ作リタル片ハ十日内ニ其謄本ヲ本住所ノ身分取扱人ニ送付シ其送付ヲ受ケタル身分取扱人ハ直ニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

身分取扱人欄外追記ヲ為スヘキ場合ニ於テ其役所ニ原記書アラサル片ハ其原記書ノ在スル所ノ身分取扱人ニ其追記ノ事ヲ通知スヘシ

伊第三百九十七条　若シ其ノ人カ其居所ニ非サル他ノ場所ニ在テ死亡シタルニ於テハ其死亡ノ分ニ付テハ之ヲ欽受スル書類ニ十日以内ニ其死亡若ハ居所ヲ有スル本邦ノ官署ヨリ送付セサルヘカラス

仏、荷、独、墺、魯、英、成文ナシ

第四百五十條　身分取扱人ハ毎年十二月末日ニ於テ最終ノ記書ノ後ニ閉結ノ旨ヲ記シ署

[illegible]

佛第四十三條　身分取扱後ハ毎年ノ末ニ其簿冊ノ完了シ且ツ終ニ結ノ旨ヲ記シテ

一月内ニ其一通ヲ地方裁判所ノ書記局ニ蔵メ他ノ一通ヲ地方裁判所ノ書記局ニ蔵メ

第十四條　身分記書ニ添ヘ置カサル可カラサル書面及ヒ其他ノ証拠物ハ之ヲ差出シタル人ト身分取扱役トニ之ヲ花押スルカ又ハ封印シタル後身分証書簿冊中ノ一通ト共ニ之ヲ始審裁判所ノ書記局ニ蔵ムヘシ

荷第二十三条　第三十四条合シ

伊第三百六十条　登録吏毎年其ノ最後ニ民籍台簿ニ登記スル戸籍証書ノ後尾ニ記

名シテ以テ其民籍公簿ノ完結シ而シテ十五日間ヲ期シ原本（其一）ヲ邑廳ノ記錄局ニ送付シテ之ヲ貯藏セシムヘシ第三百六十五條　民籍ニ記載スヘキ代理人書及ヒ其他ノ書類ニ署名ヲ爲ス法衙ノ記錄局ニ在テハ之ヲ准用ス

第三百六十六條　出産證書ハ死亡證書ト共ニ之ヲ民生簿冊管守者ニ呈付スヘシ而シテ該管守者ハ之ヲ其編輯所ニ送付スル者トス又出産死亡證書ノ簿冊（婚姻証書簿冊ノ時モ同シ）ヲ

嘘、巴黎、魯威之ヒ

第四百五十二條　地方裁判所ノ檢事ハ身分記書ノ簿冊ノ設備ヲ監督シ常ニ其整頓ニ注意シ其領收シタル身分記書ト簿冊其ニ附添書類ヲ檢查シ書記ノ立會ニテ其結果ヲ記シ之ニ認印シテ其裁判所ノ書記局ニ保藏セシムヘシ

可シ

檢事若シ身分記書ニ付犯則アルヲ發見シタルトキハ其裁判所ニ相當ノ處分ヲ請求スヘシ

佛第五十三條　始審裁判所ノ檢事ハ身分記書ノ簿冊ヲ書記局ニ藏ムル時其簿冊ノ異狀ヲ調查シテ其調查ノ簡單ナル證書ヲ作リ若シ身分取扱役ニ對シテ罰金ヲ言渡スヘキ事ヲ發見シ其事ヲ糺問スルノ權アルトキハ之ヲ告發シ其

嘘辺、冥、魯、英成文ナシ

第四百五十二條　既ニ記載シタル身分記書ニ追記ヲ為スヘキ時ハ當事者ノ請求ニ依リ身分取扱人ハ其記書ノ欄外ニ之ヲ記入スヘシ但シ地方裁判所ノ書記局ニ保藏スル記書ニ其追記ヲ為スニ付テハ身分取扱人ハ三日内ニ其旨ヲ報告シ検事ニ裁判所書記ヲシテ之ヲ記入セシメ且ツ其記入ノ彼此同一ナルヤヲ検視スヘシ

御第四十九條既ニ記入シタル身分記書ノ端ニ更ニ身分ニ関スル記書ヲ記載セサルヘカラサル場合ニ於テハ関係者ノ求メニ依リ身分取扱役ハ其現用ノ簿冊又ハ前ノ旧記庫中ニ藏メラレタル簿冊ニ之ヲ記載シ又ハ裁判所ノ書記ハ其書記局ニ藏メラレタル簿冊ニ之ヲ記載スヘシ但シ之カ為メニハ身分取扱役又ハ裁判所ノ検事ハ

詞林雑誌

三日内ニ其旨ヲ報告シ該検事ハ之ヲ簿冊ニ同一ノ方法ヲ以テ其記載ヲ為スヘキヤヲ監視スヘシ

荷第三十五條同シ

伊第三百五十九条既ニ民籍ノ簿ニ記載セル民籍記書ニ付テ追記ヲ為スニ法律ノ公認ノ漫ラノ後ニ掌籍吏ハ記載ニ利益ヲ有スル人ノ請求ニ應シ現在ノ民籍ノ簿若クハ民籍ノ記録ニ附属スル民籍分簿ノ欄内ニ追記又ハ附ノ記録内ニ貯藏スル民籍ノ簿ニ法律ノ書記ヲ為スヘキ事ニ関シテハ掌籍吏ハ三日以内ニ之ヲ検事ニ報告シ検事ハ其ノ追記カ果シテ之ヲ民籍分簿ニ同一ノ様ニ為シタルヤ否ヤヲ監視スヘシ

嘘、辺、冥、魯、英成文ナシ

第四百五十三條　身分記書ノ簿冊ハ何人ニ限ラス身分取扱役所ニ於テ展閲ヲ乞ヒ且ツ費用ヲ出シテ其謄本ヲ身分取扱人ニ求ムルヿ

ヲ得

身分取扱人ハ各個人ノ請求ニ應シテ其記載ノ捜索ヲ爲サシムルコトヲ得

其謄本ハ原本ト同一ニ謄寫シタル旨ヲ附記シ署名捺印シテ渡付スルコトヲ得

佛第四十五條　裁判所ハ何人ニ限ラス身分記載簿ノ受託者ヲシテ其簿冊ノ抜書ヲ受取ラシムルコトヲ得

荷第三十四條　同シ

伊第二百六十二條　民籍吏簿ハ公衆ノ請求ニ應シテ之ヲ公示スルコトヲ要ス

戸籍吏ハ民籍台帳ノ抜抄及ヒ証書ノ句ヲ拒却スルコトヲ得ス又戸籍吏ハ其管掌スル民籍台帳ノ抜抄及ヒ本人ノ届出ニ係ル一切ノ記載ヲ包蔵スル書類ヲ

墨西哥民籍法　何人ト雖モ民籍台帳ノ抜抄及ヒ証書ノ句ヲ拒却スルコトヲ得ス又戸籍吏ハ其管掌スル民籍台帳ノ抜抄及ヒ本人ノ届出ニ係ル一切ノ記載ヲ包蔵スル

墨第三十条　参看

英第四十二條　何人ト雖モ相当ノ吋習ヲ以テ出生簿冊ヲ展観シ捜索ヲ爲スノ権及ヒ出生簿冊管掌者ヨリ其証書ノ写ヲ受取ルノ権アリ

巴第　魯威ス

第四百五十四條　有効ナル身分証書若シ其正式ノ謄本ハ身分取扱人ノ自認スル事實ノ真正ナルヲ認ス但シ偽造ノ訴ヲ妨ケス

出席人ノ申述ハ反對ノ證據アルマテ真正ナルモノト看做ス

法律ノ命セサル記載及ヒ資格ナキ者ノ申述ハ無効トス

仏第四十五條　毀棄隠匿ニ違フコトヲ旦ツ始審裁判所長又ハ之ニ代ルヘキ裁判官ノ確的ナリト認メタル時ハ偽造ノ訴アルニ非サレハ証証憑トナスコトヲ得ス

荷第三十三條　毀棄ス

伊号三百十二条　前数条ノ例ニ準拠シテ録製セラレタル民務証書ノ写籍冊ノ滅失ニ関シテハ証人ノ証言ヲ以テ之ヲ証明スルニ至ル迄真正ナル若クハ民務証記ニ臨席シタル人ノ公証又ハ裁判所ノ証憑ヲ以テ之ヲ証明スルヲ為ス

嘘江墨、墨、英成文ナシ

第四百五十五條　身分証書ノ記載上ノ違式若クハ語脱ハ其証書ヲ無効ト為ス但シ左ノ場合ハ此限ニ在ラス

一　身分取扱人之ヲ作ラサル件

二　簿冊ニ之ヲ記載セサル件

三　身分取扱人之ニ署名捺印セサル件

時成文ナシ

第四百五十六條　身分証書ノ簿冊ノ設備ヲ

若クハ中絶シタル件又ハ其全部若クハ一部ノ毀損滅失シタル件又ハ其記載上ニ甚シキ違式若クハ語脱アリテ信用ヲ置リ可カラサル件又ハ身分取扱人ノ詐欺若クハ過失ニ因リ身分証書ヲ作ラサリシ件ハ証人若クハ私ノ書類ヲ以テ其身分上ノ事件ヲ証明スルヲ得但シ詐偽ヲ以テ其事由ヲ醸成シタル者ハ此限ニ在ラス

佛第四十六條　簿冊ノ存在セス又ハ之ヲ失ヒタル時ハ証人ヲ以テ其身分ヲ証スルヲ得可シ且ノ此場合ニ於テハ死去セシ父母ヨリ出テタル簿冊及ヒ書面ヲ以テ証人ヲ以テ婚姻出産死去ヲ証スルヲ得可シ

伊号三百十四條　若シ民籍ノ簿ヲ設備セス或ハ民籍ノ全部若クハ一部カ毀滅シ若クハ散乱シ或ハ其簿記ニ脱漏アル四合ニ当テハ産生婚姻及ヒ死亡ハ他ノ文書若クハ証人ニ依テ

ニヲ訊徴セシムルヲ得可シ但老シ民務分離ノ際又若ハ毀滅散失又ハ脱漏ヲ生ジ請求者ノ訴居ニ係ル処ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

荷第二十六條　若シ其簿冊ヲ永ク備ヘサル時又ハ喪失セシ時ハ本人ヨリ訴書又ハ訴人ヲシテ其旨ヲ訊ス可シ但其人ノ身分ニ関スル重要ノ証書ヲ変造毀棄破損又ハ喪失セシニ因リ刑事裁判ヲ受ケタル者又ハ其言渡ヲ法律ニ因リ刑事裁判ニ属スル所ノ証拠ニ可カラサルニ至リシ裁判ヲ経タルノ外ハ

英第四十三條　訴訟ニ付キ出庭婚姻及ヒ死去ノ証書ニ記載スヘキ事ヲ定ムルニ於テハ此証書ヲ以テ緊要ノ者トス其事ヲ証スルニ充ツヘキ者ヲ而シテ此証書若シクハ其写ヲ定ムルヲ得可シ

瑞、独、墨、魯成文ナシ

第四百五十七條　日本人外國ニ於テ其國ノ法式ニ従ヒ作ラシメタル身分証書ハ右勅ト反ス此場合ニ於テハ本人其証書ノ謄本ヲ三ケ月内ニ其國駐在ノ帝國公使若クハ領事ニ差出シ其定載ヲ求ムルヲ可シ

佛第四十七條　外國ニ於テ作ラレタル仏蘭要及ヒ外國人ノ身分証書ハ其國ニ於テ用ヰラルル所ノ方式ヲ以テ作ラレタル時ハ証憑ト為スヲ可シ

伊第三百二十七條　外國ニ於テ録製セラレタル民務証書若シクハ其法式カ其國法律ニ准據セサルニ於テハ則チ公印ヲ有スル者ト為スノ外其証書ヲ録製セシメタル國民ハ三月以内ニ其外國ニ駐在スル公使若クハ領事ニ其写本ヲ送付セシムルヲ要ス（修）

直チニ之ヲ送付スルヲ得サル者ハ此限ニ在ラス

英第四十四条　外國ニ於テ作ラレタル英國人ノ民生証書ニシテ其事ヲ記載シタルトキハ以テ真正ノ者

ト做スヲ可トス英國領事ノ記シタル傳語書モ亦然リ

荷、噢、巴、葡、魯成文ナシ

第四百五十八條　外國在留ノ日本人ハ帝國公使館又ハ領事廳ニ於テ帝國ノ法式ニ從ヒ身分證書ヲ作ラシムルヲ得

公使館又ハ領事廳ニ於テ作リタル若クハ本人ヨリ受取リタル身分証書ノ謄本ハ三ヶ月内ニ外務大臣ニ送致シ外務大臣ハ本人住所ノ身分取扱人ニ送付スヘシ但シ本人ノ住所不詳ナルトキハ之ヲ司法省ニ藏置ス

伊ヲ三百二十八條　王國外ニ在住スル國民ハ公使若クハ領事ヲシテ其ノ産生婚姻及ヒ死亡ノ各證書ヲ據收セシムルヲ得可シ但シ此ノ場合ニ於テハ此式ニ規定スル法式ヲ履行スルヲ要ス尚ホ領事ノ領事及ヒ之ニ代ハルヘキ吏ハ三月以内ヲ期シテ直ニ據收シタル各証書ヲ王國外務卿ニ送

右ヤハルヘシ而シテ外務卿ハ次條ニ規定スル順序ニ推據シテ其ノ産生証書ニ之ヲ登記シ住所ヲ定メサル地方ノ官吏ニ送付スル婚姻証書ハ之ヲ結婚者ノ期シタル住所ヲ有セシ本邑ノ官吏ニ送付スヘシ死亡証書ハ之ヲ死亡者ノ最後ノ住所ヲ有セシ本邑ノ官吏ニ送付スヘシ

英第四十四條　我ヲ四百五十七條ニ當ル

荷、噢、巴、葡、魯成文ナシ

第四百五十九條　前二條ニ掲ケタル身分証書ノ謄本ヲ受取リタル身分取扱人ハ直チニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

皆成文ナシ

ト做スヿヲ英國領事ノ託シタル保證書モ亦然リ

荷、嗹、巴、墨、魯成文ナシ

第四百五十八條　外國在留ノ日本人ハ帝國公使館又ハ領事廳ニ於テ帝國法式ニ從ヒ身分證書ヲ作ラシムルヿヲ得

公使館又ハ領事廳ニ於テ作リタル本人ヨリ受取リタル身分証書ハ本人ノ手ヲ經テ外務卿ニ送付シ之ヲ保存スヘシ

佛第四十八条　右ノ外國ニ在ル佛蘭西人ノ身分証書ハ外交官又ハ領事ノ仏蘭西ノ法律ニ從ヒ之ヲ記シタル時ハ有効タルヿヲ得

伊第三百二十八条　王國外ニ在住スル國民ハ公使若ハ領事ヲシテ其ノ産生婚姻及ヒ死亡ノ証書ヲ接收セシムルヿヲ得可シ但シ各其ノ地方ノ法式ニ規定スル法式ヲ履行スルヿヲ要ス公使若ハ領事及ヒ之ニ替代スル官吏ハ三月以内ヲ期シテ接收シタル各証書ヲ王國外務卿ニ送

白ヤ丸可ヤス而シテ外務卿ハ次項ニ規定スル順序ニ據テ其ノ各ヲ產生婚姻及ヒ死亡ノ証書ニ之ヲ登シ江毋ノ住所ヲ右有スル地方ノ裁判所ニ送付ス口婚姻証書ハ之ヲ接收シタル者ニ住所ヲ右セス本邑ノ裁判所ニ送付スヘキ期ニ住所ヲ右セル本邑ノ裁判所ニ送付スヘキ旨ヲ附記スヘシ

英第四十四条　我ノ四百五十七条ニ同シ

荷、嗹、巴、墨、魯成文ナシ

第四百五十九條　前二條ニ掲ケタル身分証書ノ謄本ヲ受取リタル身分取扱人ハ直チニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

皆成文ナシ

第二節　出生記書

第四百六十條　出生アリタルトキハ届出人ハ分娩ヨリ十日内ニ證人一名ヲ同伴シ其所ノ身分取扱人ニ申述ヲ為スヘシ

身分取扱人ハ必要ト思料スルトキハ醫師ヲ派遣シ又ハ親ヲ其子ヲ臨視スルヲ得

（御第五十五条　出産ノ申述ハ分娩ノ時ヨリ三日内ニ其地ノ身分取扱役ニ為シ之ニ其子ヲ示スヘシ）

伊第三百七十条　産生ハ其分娩ヨリ五日内ニ本地ノ掌務吏ニ伺フ之ヲ申明セサルヘカラス且其産生セシ子ハ之ヲ掌務吏ニ掲ケスルヲ要ス但掌務吏ハ重要ナル公会ニ為ス其産生ノ実状ヲ検査シ其産生ノ子ノ掲示ヲ免スルヲ得ヘシ

荷第三十五条　初項（仏五十五条同シ）身分簿ノ掌吏ハ其生レタル子ヲ已レニ示スヘシト要求スルヲ得（可シ）ノ力

嘱託ニ依リ之ヲ為スヘシ（第三百七十二條）出生ノ申述ハ出産ノ後定期内ニ之ヲ其地ノ法務局ト寺院ノ下役ニ当リ市カラス

第四百六十条　親族、民生証書ヲ管守スル官吏ハ其都内ニ於ケル各人ノ出産ヲ聞知スヘシ而シテ此規ニ従ヒ此証書ヲ民生簿冊ニ記入スヘシ（第二項中欠）其子ノ出産ノ日ヨリ四十日内ニ於テ其出産ニ関シ已レヨリ知ル事実ノ明細ニ申述スヘシ

辺、要、魯、成文ナシ

第四百六十一條　出生ノ後十日ヲ過キタル片ハ地方裁判所ノ命令アルニ非サレハ其証書ヲ作ル可カラス

伊第三百七十二条　産生ノ以後五日ヲ経過スレハ民籍証書ノ正偽ニ関シテ規定セル訴訟ニ准依スルニ非カレハ其申明ヲ為スヲ得可カラス

英第四十六条二項末段　四十二日後ニ至レハ誤官吏ハ一切ノ出産証書ヲ簿記為ス但シ出産ノ日ヨリ六ケ月内ニ於テ此出産ノ証書ニ非サレハ之ヲ以テ其出産ヲ証スルニ足ラスト文

仏、荷、嘩、辺、要、魯、成文ナシ

第四百六十二條　出生ハ父ヨリ申述スヘシ若シ父在ラサル片ハ同居ノ親族若クハ分娩ノ時臨席シタル医師産婆其他ノ人ヨリ申述スヘシ若シ常ニ住居セサル他ノ家ニ於テ分娩シタル片ハ父ニ次キ其家主若クハ管理人ヨリ申述スヘシ

母モ亦其申述ヲ為スヲ得

右申述ヲ受ケタル身分取扱人ハ直チニ其証書ヲ作ルヘシ

管守者ノ面前ニ於テ為スヘキ申述ヲ為ス時機別ヨリ又出産ノ日ヨリ四十二日後ニ記シタル証書ハ之ニ民生簿冊管守者ノ手署アリテ其ノ六ケ月内ニ記シタル者ニ非サレハ之ヲ以テ其出産ヲ証スルニ足ラスト文

仏、荷、嘩、辺、要、魯、成文ナシ

英国内ニ生レタル子ノ父或ハ母ニ其父母ノ氏名ヲ告ケサル片又ハ其父母ニ勤務ノ為メ其子ノ出生ニ所ノ家屋内ニ居ラサル者ノ為メ

仏第五十六条　子ノ出産ハ父ヨリ之ヲ申述スヘシ若シ父ノアラサル時ハ分娩ニ立會ヒタル内科又ハ外科ノ医学士産婆医学得業生又ハ其他ノ人ヨリ之ヲ申述スヘシ若シ母ノ其住所ノ外ニ於テ分娩シタル時ハ其分娩シタル家ノ者ヨリ之ヲ申述スヘシ出産証書ハ直ニ証人二名ノ面前ニ於テ之ヲ記スヘシ

荷第三十九条　主項第三十条ニ同シ

伊第三百七十三条　嘉生ハ其父若シ特別代理人ヲ以テ其申明ヲ為スヘキ者トス然レトモ若シ内科医師外科医師産婆若シ其他ノ人ニテ分娩ニ臨会シタル者カ其公言ヲ為ス若シ常ニ住居スル家外ニ於テ分娩セシトアレハ則チ家長若シ其分娩ヲ為セシ院舎ノ代理人カ其公言ヲ為スカ若シ又ハ其代理人モ亦産生ノ公言ヲ為スコトヲ得ヘシ産生証書ハ直ニ之ヲ登録スル者トス

英第四十六条　我ヲ四百六十条ニ准ス

嘩比蘭、魯威主ス

第四百六十三條　出生証書ニハ出生ノ年月日時場所子ノ男女其子ニ与フヘキ名及ヒ其父母若シ二人ノ証人ヲ記載スヘシ若シ雙児以上ノ分娩ニ係ルトキハ其出生ノ前後ヲ記スヘシ

仏第五十七条　出産証書ニハ出産ノ日時場所ヘ其子ノ性其子ニ与フヘキ名及ヒ其父母ト証人ト ノ姓名職業住所ヲ表スヘシ

荷第三十一條同シ

伊第三百七十四條　二項三項産生証書ハ産生ノ本邑屋舎日時其子ノ男女及ヒ与フヘキ名ヲ記載スヘシ若シ申明者カ其子ニ与フヘキ名ヲ付セサルトキハ其旨ヲ記スヘシ若シ胎ノ分娩ニ係ルトキハ則チ各証書ニ之ヲ記載シ且其産生順序前後ヲ登記スヘシ三百七十五條若シ産生カ婚姻ノ結果ニ出ルニ於テハ則チ其父母ノ姓名職業及ヒ住居ヲ係セシヲ登記ス

英第四十七条　出産証書ニハ郡及ヒ県出産ノ月日時刻其子ノ名其子ノ男女又ノ名氏位階職

業母ノ名氏其出産ヲ申述シタル者ノ偽詐住所自署及ヒ氏生証書ノ当否ノ之ヲ簿冊ニ記入シタル日時及ヒ其子男ヲ認載スヘシ出産証書ヲ簿記セシ日ヨリ六ケ月内其子ヲ洗礼ニ就ヲ名ヲ定メタル時ハ一ヒルリンゲヲ掛ケ洗礼証書ノ当否ヲ其名ヲ氏生原冊ニ記入スルヲ得可シ氏生証書ノ当否ヲ洗礼証書ニ其記入セラレタル名ヲ氏生原冊ニ而シテ氏生原冊ノ当否ヲ長官ニ以テ報告スヘシ

唖、迂、罵、鄙成文ナシ

第四百六十四條　庶出子ニ分テハ父之ヲ認知シタル場合ニ非サレハ届出人其父ノ氏名ヲ申述スト雖モ之ヲ出生証書ニ記載スヘカラス

伊ヲ三百七十六条　婚姻外ノ産生ニ関シテハ唯父母若クハ其一人ノ申明ヲ以テ父ノ姓名ヲ証書ニ記載スヘシ

ヒ住所ノミヲ申明スルヲ以テ非サル他人カ其申明ヲ為スニ当テハ若シ其母タル者ニ配偶ヒ姓名ヲ分言スル流説セシヲヲ公而サル証書ヲ以テ証拠ト為ス可カラス

第五章　住居ヲ変ス

荷ヒ三千二条　若シ来ル婚姻セスシテ子ヲ産ム時ハ出産証書ニ其父ノ姓名ヲ記載スヘカラス但シ其証ヒシテ子ナリト認ムル時ハ此限ニアラス

仏、唖、迂、罵、鄙、莫成文ナシ

第四百六十五條　病院監獄其他公立院舎ニ於テ出生アリタルトキハ二十四時内ニ院長典獄又ハ其管理人ヨリ其所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ

身分取扱人ハ其報告ニ據リ直チニ出生証書ヲ作ルヘシ

伊ヲ三百七十八條　若シ棄児ヲ育児院ニ解付セラレタル時ニ於テハ則チ育児院長ハ三日以内ニ其主任者ヲシテ記述ニ係ル容貌ヲ有スル育児院所在ノ本邑ノ学務吏ニ其子ヲ解付セシ日時其母其姓定メ有ル時ハ及ヒ其子ノ帯所ニアル物件ヲ報告ス育児院長

ハ其子ニ分與シタル姓名及ヒ所持セル番号ヲ警吏ニ報告ス

但荷嚮、四、男、魯、奘、成、文ナシ

第四百六十六條　棄児ヲ發見シタル者ハ其児並ニ附屬シタル衣服及ヒ其他ノ物品ヲ其所ノ身分取扱人ニ差出シ且ツ發見ノ場所日時其他ノ景況ヲ申述スヘシ

身分取扱人ハ調書ヲ作リ其児ヲ領置シタル年齢其男女其児ニ付シタル氏名及ヒ其児ヲ引渡ス所ノ育児院若クハ之ヲ引受ケ養育スル者ノ氏名年齢族称職業住所又ハ居所ヲ記シ且ツ其調書ヲ身分証書ノ簿冊ニ記載スヘシ

但第五十八條新産児ヲ見出シタル者ハ其児並ニ其児ト共ニ見出シタル衣服及ヒ其他ノ品物ヲ身分取扱役ニ渡シ且ツ場所ト景況ヲ申述ヘシ

此等ノ事ニ付キ詳明ナル調書ヲ作ルヘシ又其調書ニ左ノ外其児ノ養育ニ關シ其性質児ニ分與スヘキ姓其児ヲ發見スヘキ役場ヲ表示スヘキヲ以テ其調書ヲ簿冊ニ記入スヘシ

荷ヲ二十三參照シ

伊ヲ三百七十七條棄児ニ過ギシタル者ハ其衣服及ヒ其他ノ物件ト共ニ之ヲ警吏ニ報告シ其過ギシタル土地日時及ヒ其他ノ情況ヲ係セシムヘシ

但第五十八條ノ場合ニ於テハ之ヲ為サヽルヲ得ス

荷ヲ二十三參照シ其男女ノ別ヲ揭ケ之ヲ警吏ニ報告スヘシ

詳細書ハ之ヲ公簿ニ登記スヘシ

製本セサルヲ得ス

詳細書ハ第四十八條棄児ヲ見出シタル時ハ負院取締役其都ノ民生簿冊ヲ管守スル官吏ニ之ヲ報告スヘシ

但荷ヲ為スヘシ

嘘、迂、男、魯、成、文ナシ

第四百六十七條　出生証書ヲ記作セサル前ニ其生レタル子又ハ発見シタル棄児死去シタル時ハ生レタル子ニ付テハ醫師ノ診断書又棄

況ニ付テハ保安官ノ検視調書ヲ身分取扱人ニ差出シ申述ヲ為スヘシ而シテ身分取扱人ハ免去証書ノ簿冊ニ其申述ノ旨ヲ記載スヘシ

伊太利三百七十四條 未成若シ産生ノ告時際當ヲ其子カ生存セリヤ否ニ於テハ則チ證據ヲ要シ其子ノ今現以前若クハ以後ニ死セシヤ否ニ関セス唯実況ヲ挙記スヘシ

仏、荷、瑞、巴、墨、魯、英成文ナシ

第四百六十八條 航海中ニ出生アリタルトキハ官ノ艦船ニ在テハ其艦船ノ事務官其他ノ船舶ニ在テハ船長ニ十四時内ニ其父ト乗組人中ヨリ撰ミタル證人一名トノ面前ニ於テ記載作ルヘシ

其証書ハ乗組人名簿冊ノ末ニ記載スヘシ

仏第五十九條 航海中ニ子ノ生レシ時ハ父在ラス其子ト其船ノ役員ヨリ撰ミタル証人ト若クハ其役員ノ子ヨリ撰ミタル二名ノ面前ニ於テ記載ヲ作ルヘシ

其証書ハ乗組人名簿冊ノ末ニ記載スヘシ

伊太利三百八十条 若シ航海間ニ其子ノ産生スルアラハ如何ヲ其産生証書ハ二十四時以内ニ海軍政府ノ船艦ニ在テハ海軍理事官若クハ之ニ替代スル人他船舶ニ在テハ船長船舶ニ在ラス海軍理事官若クハ之ニ替代スル人ニ致若クハ之ニ替代スル人カ其証書ヲ収拾スル産生証居ハ海軍公報ノ末紙ニ登記スヘシ

荷第三十五条同シ

英第四九條 英国船ヲ以テ航海シ船中ニ英国人ノ夫婦ヨリ孝ケタル時ハ船長ハ其出産証書ニ記載スヘキ英俗ヲ記スヘシ

第四百六十九條 前條ノ手續ヲ為シタル後其艦船帝国ノ海港ニ着シタルトキハ其証書ノ謄本ヲ其港ノ身分取扱人ニ送付シ身分取扱人

ハ父母ノ住所ノ身分取扱人ニ之ヲ送致スヘシ

又外國ノ海港ニ在レトモ其臣本ヲ其國ニ駐在スル帝國公使又ハ領事ニ送付シ公使領事ハ之ヲ外務大臣ニ送致シ外務大臣ハ之ヲ父母ノ住所ノ身分取扱人ニ送付スヘシ

前二項ノ謄本ヲ受取リタル身分取扱人ハ直チニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

仏第六十条　嘱事ヲ為ス役其船ノ停泊ノ為メ若ハ船具ヲ取收ムルヨリ錨ヲ他ノ本ヨリ為メニ始メテ到着シタル港ニ於テ海軍庶務ノ役員又ハ船長船頭指令者ハ其ニ記シタル出産証書ノ公正ナル副本二通ヲ領事而港ニ於テハ海軍兵士徴募役署ニ納メ外國ノ港ニ於テハ領事ノ手元ニ納メ一通ヲ本国ノ海軍兵士徴募役署ニ領事館ノ書記官ニ職ノ署名他ノ一通ハ之ヲ海軍卿ニ送呈シ海軍卿ハ其右個ノ記載ノ写ヲ自カラ保証シ

ヲ其子父ノ住所ノ身分取扱役ニ送達シ其父ノ知レサル時ハ其母ノ住所ノ身分取扱役ニ送達スヘシ但シ其生存ノ証明ニ記入スヘキモノトス

第三十六条　第三十七条同シ

伊第三百八十条　若船舶ノ停泊スル埠頭ノ王國外ニシテ且其地ニ王國ノ公使若クハ領事アルニ於テハ則理事官船長船頭ハ其領製セル産出証書ノ公正ナル写本ヲ其領者ノ公使領事ニ交付スヘシ若シ且理事官ノ王國ニ在ルニ於テハ則チ其写本ヲ海軍吏属ノ地方廳ニ留存スヘシ

第三百八十八条ニ掲記セル如キ学藝士ノ産ニ付テハ其送付ヲ要セス

英第五十条　英國内港湾ニ碇泊スル船又ハ他ノ船便ニ於テ船長若クハ拂拂官ヨリ民生簿冊ノ謄本ヲ送付スヘシ長官ハ海上民生簿ニ之ヲ編入スヘキモノトス

第四百七十條　正出子ノ否認ハ地方裁判所ヨリ送致スル裁判宣告ノ謄本ニ依リ其子ノ出生證書ノ欄外ニ之ヲ追記スヘシ

皆成文ナシ

第四百七十一條　庶出子ノ認知ハ身分取扱人之ヲ其出生證書ノ欄外ニ記入スヘシ

公証人若クハ裁判所書記ハ認知證書又ハ裁判宣告書ノ謄本ヲ其出生證書ノ在ル所ノ身分取扱人ニ送付シ身分取扱人ハ其證書ノ欄外ニ之ヲ追記スヘシ

伊第七十二条　子ノ認定証書ハ其認定ノ日附ヲ以テ簿冊ニ記入シ又出産証書ノ在ル市町村ニ其証書ノ端ニ其旨ヲ記スヘシ

荷蘭民法第三百八十五條ニ若シ父母ノ証書ヲ以テ我子ナリト記メタル時ハ其本人ハ出産ノ証書ノ端ニ其旨ヲ記入セシヲヲ以テ又ハ父母ノ証書ヲ以テ我子ナリト記メタル時ハ其証書ノ端ニ其旨ヲ記入スヘシ

伊第三百八十二条　子ノ認知証書ハ其記日ヲ以テ出産証書ノ端ニ其旨ヲ記スヘシ

書アルニ非ラサレハ其認知ノ記事ノ欄右ニ左記ス

唯第二十三条　私生ノ子ヲ我子ナリト認メ之ヲ嫡出ノ子ノ如キ地位ニ置ク旨ヲ記シ

権利及ヒ利益ヲ享有セシメント欲スル者ハ先ツ手記ノ申述書ヲ差出スヘシ而シテ其申述書ハ公衆ニ布告シ且ツ裁判所ニ於テ公認スヘキ若シクハ

四、墨、魯、英成文ナシ

第四百七十二條　庶出子ノ准正ハ身分取扱人之ヲ其出生證書ノ欄外ニ記入スヘシ

皆成文ナシ

第三節　婚姻及離婚記書

第四百七十三條　婚姻公告書ハ特別ノ簿冊ニ記載スヘシ

佛第六十三条ノ主旨　我第五十三条参考

荷第百七条主旨ニ同シ

伊、瑞、辺、墨、魯、英我文ニ

第四百七十四條　婚姻記書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

一　夫婦

二　父母養父母

三　婚姻ニ必要ナル許諾

四　婚姻公告ノ日附又ハ免除

五　夫婦ノ約諾

六　証人

七　夫婦財産契約ノ有無其ノ契約アルトキハ其契約ノ制約ニ日附及ヒ之ヲ作リタル公証人ノ氏名居所

八　特別婚姻ナルカ又ハ婚姻ニ由ル縁組ナルトキハ其事由

九　婚姻公式ヲ行ヒタル年月日時場所

佛第七十二条　婚姻命令ニ左件ヲ記スヘシ一夫婦ノ姓名職業年齢住所及ヒ其父母ノ姓名職業住所但父母祖父母ノ許諾及ヒ親族ノ評議ヲ必要トスル時ハ其許諾ノ証書ヲ作リタル時ハ其証書ノ表題ノ住所及ヒ公証人ノ姓名職業住所二夫婦又ハ其一方ニ故障ノ解除又ハ故障中止ノアリタル旨ノ記載ヲ以テ婚姻セントスル者ヨリ之ヲ請求シタル時ハ其申述及ヒ其故障ノ解除又ハ故障中止ノアリタル旨ノ記載ヲ以テ婚姻セントスル者ヨリ之ヲ請求シタル時ハ其申述及ヒ公証人ノ役免ヲ受ケ結婚シタル旨ヲ宣告シタル人ノ姓名年齢職業住所及ヒ其証人ノ姓名年齢職業住所及ヒ其証人ハ婚姻ヲ為ス者ノ血属親又ハ姻属親ニシテ且ツ何レノ方及ヒ如何ナル役ノ者ナルヤノ申述ヲ為シ前条ニ記シタル同一ノ証書ニ右ノ事項ヲ記載スヘシ

婚姻ノ契約ヲ為シタルトキハ又ハ之ヲ為サヽルヤノ申述及ヒ其契約書ノ存在スル時ハ其日附並ニ其契約書ヲ記シタル公証人ノ姓名及居所但シ之ニ書ヲ添ヘ又ハ取扱役ノ為ニ定メタル証書ヲ渡スヘシ若シ其申述ニ変更又ハ錯誤アル場合ニ於テハ権事ヨリ其変更又ハ錯誤ニ関シテ証書ノ改正ヲ命スルヲ得ヘシ但シ第九十九条ニ従ヒ領使又ハ領事ノ其権利ヲ行フト相異ルヿアルヘシ

荷蘭百二十六条　第百四十三条ノ婚姻証書ニハ次後ノ事件ヲ包載スヘキ者トス一婚姻者ノ姓名年齢職業産生ノ本地及ヒ其住居若シ居所ヲ有セハ居所二先親或ハ親属抔会若シ後見抔会ノ無キ時ハ会ニ在テ其選ミ若シ又ハ其指定ノ婚姻公告ノ為ニ用ヒタル会合書ニ第二十八条ニ掲記セル場所ニ決定ノ婚姻公告ノ為ニ用ヒタル会合書ニ第二十八条ニ掲記セル障礙ノ其一ヲ得タ

其ヲ立テ名、婚姻ヲ行ヒタル後ハ婚姻ノ事実ヲ以テ婚姻ヲ行ヒタル事実ト場所及ヒ証人ノ氏名住所並ニ仲人アルトキハ仲人ノ氏名住所並ニ媒酌者其ノ他ノ証人ノ氏名階級職業及ヒ婚姻当ノ免除ヲ得タル事又ハ其当ヲ得ヘカリシ事ヲ記シ夫婦及ヒ其婚姻ヲ行ヒシメタル官吏ノ署名ヲ要ス

可シ

唯四、罰、魯、成立ス

第四百七十五條　婚姻ノ不成立及ヒ無効又ハ離婚ノ確定裁判アリタルトキハ其裁判ノ書記ヨリ十日内ニ宣告書ノ謄本ヲ最寄ニ婚姻ヲ為シタル所ノ身分取扱人ニ送達シ身分取扱人ハ婚姻証書ノ欄外ニ之ヲ追記スヘシ

伊ヲ三百八十四条　婚姻ノ無効ヲ宣告スル終審判決書ハ請求者ノ自費ヲ以テ其宣告ヲ為セシ法衙ノ書記ヲシテ其公正ナル謄本ノ送婚セシ本邑ノ掌務吏ニ送付スヘク婚姻証書ノ傍白ニ其宣告ヲ登記ス

御荷、唯四、罰、魯、成立ス

第四節　縁組證書

第四百七十六條　縁組證書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

一　養子

二　養父母及ヒ実父母

三　養子ヲ為ス者ノ配偶者ノ承諾若シ承諾ヲ得ルヿ能ハサル片ハ其事由

四　養父母及ヒ養子ノ承諾又ハ遺囑養子ノ受諾

五　未成年者ヲ養子ト為ス片ハ其父母又ハ親族會ノ許諾

六　育児院ニ在リテ父母ノ知レサル子ハ院長ノ許諾

七　實子アル者ノ縁組ニ付テハ其特許
八　遺囑養子ハ遺囑證書ノ日附及ヒ遺囑者
　死去ノ年月日時
九　證人
十　婚姻ニ由ル縁組ナル片ハ其事由
十一　養子ト為リタル年月日時場所
　皆成文ナシ
第四百七十七條　婚姻ニ由ル縁組ニ於テハ婚
姻證書ノ外別ニ縁組記書ヲ作ル可シ
　皆成文ナシ
第四百七十八條　地方裁判所ニ於テ未成年者
ノ縁組ノ認可アリタル片ハ當事者ハ二ケ月
内ニ其裁判宣告書ヲ縁組記書ノ欄外ニ追記

七　シ可シ
縁組ノ認可アラサル片ハ其裁判所書記ノ通
知ニ依リ欄外追記ヲ為ス可キモノトス
　皆成文ナシ
第四百七十九條　縁組ノ不成立及ヒ無効ノ確
定裁判アリタル片ハ其裁判所書記ヨリ十日
内ニ裁判宣告書ノ謄本ヲ身分取扱人ニ送達
シ身分取扱人ハ縁組記書ノ欄外ニ之ヲ追記
ス可シ
　皆成文ナシ

第五節　死去証書

第四百八十條　死去アリタルトキハ葬送前ニ其死去ヲ実見シタル戸主若クハ親族又ハ其他ノ者証人一名ヲ同伴シテ其所在ノ身分取扱人ニ申述ヲ為スヘシ但シ主治醫ノ診断書ヲ差出スヘシ

佛第七十八條　死去証書ハ証人二名ノ申述ニ依リ身分取扱役之ヲ作ルヘシ。其証人ハ成ルヘク最近親ノ血属親又ハ近隣者ニ名タルヘキ者ヲ選フヘシ。但シ其一名ハ死去シタル家ノ者又ハ血属親或ハ其他ノ人タルヘシ

伊第三百八十六条　死者証書ハ其事実ヲ知者セル二名ノ証人ノ署言ニ憑拠シテ掌吏ヲシテ之ヲ作ラシムヘシ

荷第五十条　仏第七十八条一項ニ同シ若シ死者自己ノ住所ノ外ニ於テ死去シタル時ハ其地ノ身分証書ノ官吏ハ其死者ノ最後ノ住所ノ地ニ其死去ノ証書ノ写ヲ送達シ身分証書ノ消滅ヲ

謄記セシラルコトヲ加フ

吏第二十三条　民生活册ヲ管守スル官吏ハ其郡内ニ於テ人ノ死亡ヲ厳密ニ探知スルコトヲ要ス死亡ヲ知ルヤ直チニ之ヲ活册ニ記載スルコトヲ要ス何人ト雖モ死亡ノ届出ヲ為シタル者又ハ死亡ノ検案ヲ為シタル医師ヲ以テ之ヲ証スルニ足ル人ニ非サレハ死亡ノ届出ヲ為スコトヲ得ス

死亡ノ時ニ於テ同居セサル者ハ死亡ノ日ヨリ八日内ニ其申述ヲ為スヘシ此官吏ハ之ヲ受ケタルトキハ其死亡ノ事ヲ活册ニ登録セル旨ヲ記シタル保証書ヲ別ニ渡スヘシ

（此ニ異ノ字ヲ脱セリ）

第四百八十一條　死去証書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヘシ

一　死者

二　死去ノ年月日時場所

三　配偶者ノ有無

四　死去者ノ父母養父母

五　申述人並ニ証人

右諸件中若シ知悉スル能ハサルトキハ其旨ヲ附記スヘシ

（綴）又ハ繼父又ハ寡婦トナリタル者ナル時ハ其配偶者ノ姓名ト申述人ノ姓名ト戸籍ノ住所及ヒ其申述人カ血属親タル時ハ其血縁ノ級ト記スヘシ又其証書ニ記入スヘキハ死者ノ父母ノ姓名職業住所ト其死者ノ出産地トヲ記スヘシ

（諸）

前ノ五件同シク死者ノ日及ヒ時ヲ記スヘシ

伊ノ三百八十七条　死亡証書ニハ死亡セシ場地日時死亡者ノ姓名年齢職業及ヒ其住居若シハ屋所ト其中明瞭ナル人ノ姓名年齢職業及ヒ其住居若シハ屋所ヲ包載スル者シテ死亡者カ結婚者ニ係ルトキハ其生存セル配偶者ノ姓名ヲ附記シ若シ死亡者カ未タ人タラサル其モ夫姓名ヲ附記スヘシ其父母ノ姓名職業及ヒ住居並ニ死亡者ノ産生ノ場地ヲ亦録メヨ

登記セラルヘシ

第四百八十一條　死亡ノ報告ハ死亡ノ場所ヲ管轄スル戸籍吏ニ之ヲ為スヘシ

死亡ノ報告ハ死亡ノ時ヨリ七日以内ニ之ヲ為スヘシ但シ外国ニ於テ死亡ノ報告ヲ為ス場合ニ於テハ其国ニ在留スル日本人ハ其国ニ在ル日本ノ大使公使又ハ領事ニ報告ヲ為スヘシ

第四百八十二條　遺骸ハ埋葬又ハ火葬ヲ為ス前ニ於テ之ヲ検視スルニ非サレハ埋葬又ハ火葬ヲ為スコトヲ得ス

死亡ノ報告ハ死亡ノ場所ヲ管轄スル戸籍吏

戸民生掛官吏ニ之カ申述ヲ為サシメ且ツ其ノ署名ノ上ニ捺印ヲ受クヘシ

第四百八十三條　變死又ハ變死ト思料スヘキ模様アル時ハ保安官醫師ノ立會ヲ以テ死體ノ形狀及ヒ之ニ関スル諸般ノ景況ト死者ノ男女氏名年齢族称職業住所及ヒ居所トヲ檢査シ且ツ届出人訊人ノ氏名年齢族称職業住所ヲ保セシメ調書ヲ作リ之ヲ其所ノ身分取扱人ニ報告シ身分取扱人ハ其調書ニ據リ直チニ死去証書ヲ作ルヘシ

遺骸ハ其手續ヲ為シタル上保安官ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ葬送スルコトヲ得ス

佛第八十五條殺死ノ証跡又ハ變死ノ疑アル時又ハ其他ノ景況ア時ハ檢事官カ内科又ハ外科ノ醫学士ノ補助ヲ受ケテ死體ノ景狀及ヒ之ニ関シタル景況ト死者ノ姓名年齢職業出産ノ地住所ニ付キ集取スルコトヲ得タル卷照件トノ調書ヲ作リタル後ニ非サレハ埋葬ヲ為スコトヲ得ス○第八十三條檢事官ハ其人ノ死シタル地ノ身分取扱役ニ直チニ其調書ヲ表示シタル鈎ノ卷照件ヲ送達シ而シテ其卷照件ニ從ヒ死去証書ヲ作ルヘシ○其身分取扱役ハ死者ノ住所ノ外ニテ死シタル時ハ其住所ノ身分取扱役ニ死去証書ノ副本一通ヲ送ルヘシ但シ其副本ハ之ヲ登録ニ記入スヘキ者トス

荷ハ五十五條　第五十七條同シ

伊第三百八十九條　變死ノ徴候アリ若クハ他ノ形況ニテ變死ノ疑狀アル時ハ檢事ハ内科醫師若クハ外科醫師ノ臨檢ヲ得テ死体形狀並ニ之ニ関係スル諸般ノ情況及ヒ其死亡者ノ姓名年齢職業産生ノ場地且其住居ニ関シテ詳細書ヲ録製スヘシ○前項ノ場合ニ於テハ前條ノ為ス所ノ檢事ハ非サレハ前タ其埋葬ヲ為スコトヲ許サス○第三百九十條檢事ハ直チニ其人ノ死亡ノ場地ノ警察吏ニ詳細書ヲ送付シ警察吏ハ之ニ依拠シテ以テ死亡証書ヲ録製ス

英第三十六條　非常ニ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其死骸ハ検視官其死ノ形狀ニ據リテ

シタル後ニ非サレハ之ヲ埋葬スルヲ得ス其ノ水夫ノ死者マタハ地方官吏ノ検視官ニ其旨ヲ報告スヘシ但ヲカレハ署名ト言渡ヲ経ルヲ可トスル死骸ノ検査ハ検視官隣郷ノ医師ニ之ヲ嘱シ而シテ此検査ヲ為シタル後検視官ハ其理案ヲ作スヲ以テ死許シ以テ死亡書ヲ作ラシムヘシ若シ民生官吏ニ於テ報告ヲ為スヘシ

嘘四、罪、曽成文ナシ

第四百八十四條　災害ニ罹リタル者ノ形體ヲ發見又ハ認識スルヲ能ハサル片ハ傷害官前條ニ従ヒ臨検調書ヲ作リ地方裁判所ノ検事ニ報告シ検事ハ裁判所ノ認可ヲ得テ其調書ヲ身分取扱人ニ送付シ之ヲ死去証書ノ簿冊ニ添ヘ置クヘシ

伊ヲ三百九十一條　死体ヲ捜索シ得可カラス者ハ之ヲ認識シ得可カラサル死亡ニ関シテハ主任官吏其收死ヲ明記セル詳細書ヲ検事ニ送呈シ検事ハ法律ノ

公任ヲ得テ其詳細書ヲ民務局ニ送ルヘシ

仏荷嘘四、罪、曽成文ナシ

第四百八十五條　病院学校其他公立院舎ニ於テ死去アリタル片ハ院長校長若クハ管理人ヨリ二十四時内ニ其所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ

佛第千條　兵病院警察病院又ハ其他ノ公舎ニ於テ死去アル場合ニ於テハ其院舎首長管理者又ハ所有主ヨリ二十四時内ニ其由ヲ身分取扱役ニ報告シ身分取扱役ハ死去ヲ験認スヘシ

為メ其所ニ至リテモ亦タ受クヘキ申述ト其取リタル差照件トニ依リ前条ノ従ヒ死去証書ヲ作ルヘシ

若シ其病院及ヒ公舎ニ於テ其申述ト差照件トヲ託スル者ナキ片ハ其ノ最終ノ住所ノ身分取扱役ニ為メ死去証書ヲ送リ其最終ノ住所ノ身分取扱役ハ之ヲ簿冊ニ記入スヘシ

荷第千四条ニシ

伊第三百八十八条　病院学校若ハ其他ノ院舎ニ死七者アル時ハ院長校長若ハ之ニ代ル者ハ二十四時以内ニ前条ニ掲ケタル事項ニ準シテ之ヲ管轄吏ニ報告ス

英第六十七条　囚獄又ハ懲治場製工場等ノ院舎ニ於テ死去アリタル時ハ典獄ヨリ在監人名簿ニ據リ二十四時内ニ其所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ

嘩、巴、墨、魯成文ナシ

第四百八十六條　監獄ニ於テ死去アリタル時ハ典獄ヨリ在監人名簿ニ據リ二十四時内ニ其所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ

死刑ノ執行アリタル時亦同シ

仏第六十三条　前段重罪裁判所ノ書記ハ死刑ノ裁判ノ執行ノ時ヨリ二十四時内ニ其處刑ノ地ノ身分取扱役ニ第四百七十九条ノ表ニ掲ケタル各照付ヲ送ルヘシ但第六十四条前段ノ役獄舎又ハ懲役場及ヒ禁獄場ニ於テ死去シタル場合ニ於テハ其刑監又ハ獄監ヨリ直ニ身分取扱役ニ其由ヲ報告スヘシ

伊第三百九十三条　牢獄内ニ於テ死七スル者アルニ当リテハ監獄吏ハ直ニ之ヲ管轄吏ニ報告スヘキ者トスルヲ三百九十四条ノ例外トス

四条ニ掲ケタル事項ヲ其死刑ノ執行ノ以後二十四時以内ニ第三百八十四条ニ掲ケタル事項ヲ其死刑ヲ處断セル本地ノ管轄吏ニ報告セサルヘカラス管轄吏ハ此報告ニ依拠シテ死七証書ヲ錬製ス

荷第五十七条　仏第六十三条ニ同シ

英第六十七条　我第四百八十五条ニ同シ

嘩、巴、墨、魯成文ナシ

第四百八十七條　前二條ノ場合ニ於テハ身分取扱人ハ其報告ニ據リ直ニ死去証書ヲ作ルヘシ

我第四百八十六條参考

第四百八十八條　変死又ハ監獄内ニ於テ死去若クハ刑死シタル者ノ死去証書ニハ其事故

ヲ記載スヘカラス

仙第八十五條　死ノ殘死ヲ為シ又ハ獄舍及ヒ懲役場内ニ於テ死去シ又ハ死刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ此等ノ事実ヲ第七十九条ニ定メタル法式ヲ以テ死去証書ヲ記スヘシ

荷第五十八条同シ

伊第三百九十五条軍艦内ニ変死若シクハ死刑ノ屬斷等又ハ如何ナル事実ヲ發記セス但死去証書ハ第三百八十七条ノ法式ヲ履行シテ之ヲ調製ス

英第三十九条　獄舍ニ於テ死去スル者アル時ハ檢視官ハ其死体ヲ檢査スヘシ且英國ニ在テハ非常死シタル者又ハ死刑ニ處セラレタル者ノ死去ノ証書ハ他ノ法式ヲ以テ之ヲ作ルヘシトスルヲナシ

獨四、墨、魯成文ナシ

第四百八十九條　船海中ニ死者アルトキハ其死去証書ヲ作リ及ヒ之ヲ送付スルノ方法ニ付テハ第四百六十八條第四百六十九條ノ規則ヲ適用ス

船舶ノ難破ニ因リテ乗組人並ニ乗客悉皆死去シタル場合ニ於テハ管轄官廳其確報ヲ得テ死者住所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ

若シ乗組人又ハ乗客ノ一部死去シ乗組人名簿ノ管守者モ死者中ニ在ルトキハ其生存者ノ証言ニ據テ調書ヲ作リ死者住所ノ身分取扱人ニ報告スヘシ報告ヲ受ケタル身分取扱人ハ直チニ死去証書ヲ作ルヘシ

仙第八十六条　船海中死去アル場合ニ於テハ其船ノ役員中ヨリ擇ミタル証人二名若シクハ其役員アラサル時ハ乗組人中ヨリ擇ミタル証人三名ノ面前ニ於テ二十四時内ニ其死去証書ヲ作ルヘシ其証書ハ國王ニ屬スル船ニ在テハ海軍庶務ノ役員之ヲ記スヘシ又商船ニ在テハ船長船艘又ハ船ノ指令者之ヲ記スヘシ其死去証書ハ乗組人姓名ノ下ニ之ヲ記入スヘシ第八十七条此事ヲ為スノ後其船ノ停泊ノ港ノ者ハ船員

ヲ取收ムルヨリ後ヲ他ノ原由ノ為メニ始メヲ到着シタル港ニ於テ其死去記書ヲ記セシ海軍
庶務ノ役吏又ハ船長船要指令者ハ第二十条ニ従ヒ其死去記書ノ副本貳通ヲ納ムヘシ其船
ノ船員ヲ取收ムル港ニ到着シタル時ハ乗組人員名簿ヲ海軍兵士徴募役罰ニ納メ其ノ役罰ノ官吏ハ
死去記書ノ副本壱通ニ署名シテヲ之ヲ死者ノ住所ノ身分取扱役ニ送ルヘシ但シ其副本ハ直ニ簿
冊ニ記入スヘキ者トス

第四十九条　第四十条同シ

伊第三百九十六条　航海中ニ死亡者アルニ於テハ前ノ其死亡記書ハ第三百八十條ニ指定シタル簿冊ニ記
載者ノ第三百八十条ノ條例ヲ履行シタル之ヲ繕製スヘキ者トス○破船ニ因テ船員船客共ニ死
亡セシ時ハ當ニ当テハ海軍管轄廳ハ其死亡者ノ賀屋本邑ノ各谷簿ニ之ヲ証記セシムヘシ○破船ニ因
テ船員船客ノ一部分ノ死亡シ殘記ヲ管掌スル者ニ非ス其死亡者中ニ在ル二於テハ則チ其ノ死亡記
書ノ外國ニ於テハ領事官ニ國ノ於テハ海軍ノ所轄地方廳ノ其生存セル人ノ言ニ依リ之ヲ
繕製ス

英第七十条　英國ノ英國船中ニ死去スル者アル時ハ其死亡ヲ証スル為メ船長又ハ指揮

官ハ民生簿冊ニ記入スヘキ死記書ヲ作ルヘシ○第七十条　英國ノ港湾ニ着船スル後ハ速ニ死亡ノ指揮官ヨリ死生ノ簿冊管守長官ニ此証書ノ
写ヲ送達スヘシ此簿冊管守長官ハ海上民生簿ニ之ヲ編入スヘキ者トス

唯、巴、墨、曾成文ナシ

第六節　種々ノ證書

第四百九十條　家督相續又ハ其他ノ事由ニ因リ戶主ト爲リタル者ハ十日內ニ證人一名ヲ同伴シ其所ノ身分取扱人ニ申述ヲ爲スヿヲ可シ但シ歸產相續ノ場合ニ於テハ歸產者モ亦其申述ヲ爲スヿヲ可シ

（皆成文ナシ）

第四百九十一條　戶主證書ニハ左ノ諸件ヲ記載スヿヲ可シ

一　戶主

二　戶主無能力者ナルトキハ其代表人

三　前戶主其續柄及ヒ生死

四　父母其生死

五　戸主ト為リタル事由
六　證人
七　戸主ト為リタル年月日

皆成文ナシ

第四百九十二條　國民分限ヲ獲得シ若クハ回復スルノ申述アリタル時ハ身分取扱人直チニ其證書ヲ記載シ其者原日本人ニ係ル時ハ其出生証書ノ欄外ニ追記ス可シ

皆成文ナシ

第四百九十三條　國民分限喪失ノ裁判アリテ確定シタル時ハ其裁判ノ書記ヨリ十日内ニ裁判宣告書ノ謄本ヲ本人原住所ノ身分取扱人ニ送達シ身分取扱人ハ之ヲ簿冊ニ記載シ且ツ其出生證書ノ欄外ニ追記ス可シ

皆成文ナシ

第四百九十四條　未成年者自治ヲ得タル時ハ身分取扱人一直チニ之ヲ其出生証書ノ欄外ニ記入ス可シ

自治ヲ廢止スル親族會ノ決議ハ十日内ニ保管人ヨリ身分取扱人ニ申述シ身分取扱人ハ直チニ其欄外ニ追記ヲ為ス可シ

皆成文ナシ

第四百九十五條　後見人保管人治産人及ヒ假管理人ハ其就任ヨリ十日内ニ其後見自治禁治産若クハ假管理ノ事由ヲ具シテ後見自治禁治産若クハ假管理ヲ受ケル本人住所ノ身

分取扱人ニ申述ス可シ

身分取扱人ハ直チニ之ヲ其簿冊ニ記載ス可シ

（皆改正ス）

第四百九十六條　後見自治禁治産及ヒ假管理ニ付テハ左ノ諸件ヲ記載ス可シ

一　未成年者自治ノ未成年者禁治産者准禁治産者又ハ疾癈者

二　後見人及ヒ副後見人保管人治産人又ハ假管理人

三　後見自治禁治産若クハ假管理開始ノ年月日

（皆改正ス）

第四百九十七條　未成年者成年ニ達シ禁治産者准禁治産者禁治産若クハ准禁治産ノ刑事上禁治産者主刑終リ疾癈者其原由ノ罷ムニ因リ後見人保管人治産人若クハ假管理人ヲ廢シタル時ハ十日内ニ本人ヨリ事由ヲ具シテ其所ノ身分取扱人ニ申述ス可シ

身分取扱人ハ直チニ其事件ヲ記載シタル簿冊ノ欄外ニ追記ス可シ

（皆改正ス）

第四百九十八條　失踪ノ推測又ハ宣言ノ裁判アリタル時ハ十日内ニ請求人ヨリ其所ノ身分取扱人ニ其謄本ヲ差出シ簿冊ニ記載セシム可シ

失踪者其生存ヲ申出テタル時ハ身分取扱人

ハ失踪ヲ記載シタル簿冊ノ欄外ニ追記スヘシ

皆成文ナシ

第四百九十九條　氏名変更ノ許可ヲ得タル片ハ其許可書ヲ具シテ本人ヨリ其所ノ身分取扱人ニ申述スヘシ

身分取扱人ハ直チニ其出生証書ノ欄外ニ追記ヲ爲スヘシ

前第六十三條何人ニ限ラス主ノ免許ヲ得ルニ非サレハ自己ノ姓ヲ変更シ又ハ自己ノ姓ニ他ノ姓ヲ添加スルヲ得スト雖モ第六十六條名ノ変更ニ管スル官令ハ出産ノ証書ノ端ノ其簿冊トニ記載スヘシ

佛、伊、嚊、巴、墨、魯、英成文ナシ

第五百條　住所変更又ハ設定ノ申述アリタル片ハ新住所ノ身分取扱人ハ其証書ヲ作リ其変更ニ係ル事ヲ舊住所ノ身分取扱人ニ通知スヘキ旨ヲ舊住所ノ身分取扱人ニ命シ且ツ其簿冊ノ欄外ニ追記スヘシ

皆成文ナシ

第五百一條　外國人帝國ニ住所又ハ居所ヲ定ムル片ハ其本國氏名年齢及ヒ身分ヲ其所ノ身分取扱人ニ申述スヘシ

若シ其外國人ニ妻子アル片ハ其名及ヒ年齢並ニ居所中ニ生シタル子ノ名及ヒ生年月日ヲ申述スヘシ

其他自治又ハ禁治産ニ因リ其身分ニ変更アル片ハ之ヲ申述スヘシ

其申述ヲ受ケタル身分取扱人ハ其簿冊ニ記載スヘシ

皆成文ナシ

第五百二條　本節ニ掲ケル証書ヲ作ルニ付テハ証人ヲ要セス但シ戸主証書ハ此例ニ在ラス

皆成文ナシ

第七節　特別ノ身分証書

第五百三條　出征中ノ軍人軍属ニ係ル身分証書ハ陸軍ノ規則ニ定メタル士官之ヲ作ルヲ可シ

仲第八十八條　軍人又ハ其他軍中ニ於テ使用ヲ受ケル者ニ関シ王國領地外ニ於テ作ル所ノ身分証書ハ前數條ノ成規ニ定メタル法式ヲ以テ之ヲ記但シ後ノ數條ニ記スル所ノ例外ハ格別ナリトス

伊第三百九十条　従軍軍人若ハ軍隊所属ノ人民職務証書ニ関シテハ其掌職吏ノ職務特別ノ規則ヲ以テ之ヲ管掌ス此人ヲ指定スルニ当リテハ第三百九十九条ノ産生ノ七ニ関シテハ務テ速カニ其出言ヲ為ス為メ本章中前數章ノ規定ス所ノ則ニ准シテ之ヲ履行セサル可カラス

荷第三十条　軍人ノ死去ヲ通常ノ身分証書ノ簿冊ニ記載スル方法ハ特別ノ規則ニ依ル

テ之ヲ定ム

嘱辺、冥、魯、英成文ナシ

第五百四條　出征中記載シタル（依リ）身分証書ノ正本ハ其士官ヨリ陸海軍大臣ニ差出シ陸海軍大臣ハ其謄本ヲ本人住所ノ身分取扱人ニ送付スヘシ

謄本ノ送付ヲ受ケタル身分取扱人ハ直チニ之ヲ簿冊ニ記載スヘシ

仏、蘭、九十二条　軍中ニ於ケル出産ノ申述ハ其分娩ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ為スヘシ　ロ、旁、九十三条　身分証書謄冊ノ設備アラサルタル官吏ハ其謄冊ニ出産証書ヲ記入スヘキ時ヨリ十日内ニ其換書ヲ其子ノ父ノ最終ノ住所ノ身分取扱役ニ送ラサルヘカラス若シ其父ノ知レサル時ハ母ノ最終ノ住所ノ身分取扱役ニ送ラサルヘカラス　ロ、旁、九十八条　軍隊ヨリ身分証書ノ副本ヲ送達ヲ受ケタル者本人住所ノ身分取扱役ハ直ニ之ヲ簿冊ニ記入スヘシ

伊、四百條　営舎ニ於テ軍務ヲ執行スル士官ハ其職ヲ帯ヒサル証書ヲ陸軍卿若ハ海軍卿ニ送付シ陸軍卿若ハ海軍卿ハ之ヲ三百十八条ニ掲ケタル営舎ニ於ケル営舎吏ニ之ヲ与フ

英、四十二条　上段　英國又ハ外國ニ在留スル兵士ニ係ル出産婚姻及ヒ死亡ノ確認ニ関シ其事務ヲ掌理スル為メ陸軍大臣ハ（軍隊ニ附属シテ勤務スル者ニ非サル）副長官ヲ任命ス

瞬、隊名ヲ記シ其日附ヲ以テ死去セリ又ハ其日ニ何処ニ於テ死亡セリ又ハ其日ニ何処ニ於テ死亡セル旨ヲ記シ又空ヲ把シ各人ニ関スル其状況ヲ記スヘシ

荷、嘱、辺、冥、魯、成文ナシ

第八節　身分証書ノ訂正

第五百五條　身分証書ノ訂正ヲ要スル旨ハ其關係アル者ヨリ地方裁判所ニ請求スルコヲ得

仏第九十九條　身分証書ノ改正ヲ訴求シタル時ハ該管裁判所ニ於テ裁判ノ意見ヲ聽キタル上之ヲ裁定スヘシ但シ其裁定ハ之ヲ證跡スルニヲ得ヘキヒロ別段ノ理アル時ハ此限ニ非ス

仲第四百一条　民籍証書ノ正誤ハ其正誤ヲ要スル旨ヲ證スル民籍ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ請求ス

荷第七十条　証書改正ノ裁判所ハ檢察官又ハ當事人ノ申立ニ應シ後改正ノ言渡ヲ爲スヘシ

英第七十六條　我第四百四十七条ニ同シ

嗹、巴、墨、魯、成文ナシ

第五百六條　地方裁判所ノ檢事ハ公ケノ秩序又ハ貧民ノ爲メ身分訴書ノ訂正ヲ其裁判所ニ請求スルヲ得

佛第九十九条　我第五百五条參考

伊、荷、墺、廻、墨、魯、英、成文ナシ

第五百七條　訂正ノ裁判ハ請求人及ヒ當法ニ召喚ヲ受ケタル關係人ニ對スルニ非サレハ其効力ヲ有セス

佛第百条　改正ノ裁判ハ何レノ時ト雖モ其改正ヲ請求セス又ハ其改正ノ裁判ニ付キ召喚セラレサリシ關係各人ニ之ヲ對抗スルヲ得ス

伊第四百二条　公簿正誤ノ宣告書ハ其正誤請求ニ關與セサリシ人若クハ其申訴ノ時際訴廷ニ召喚セラレサリシ人ニ向テ効力ヲ有セサル者トス

荷第七十二条　改正ノ裁判言渡ハ之ヲ改正スルヲ願出セシ者ノ爲メ又ハ之ヲ爲ス裁判所ノ呼出ヲ受ケタル者ノ爲メニ非サレハ其効無キ者トス

墺、廻、墨、魯、英成文ナシ

第五百八條　訂正ノ裁判確定シタル片ハ其謄本ヲ請求人ヨリ身分取扱人ニ差出シ身分取扱人ハ直チニ訂正スヘキ身分訴書ノ欄外ニ追記スヘシ

佛第百一条　正改裁判書ハ身分取扱役ノ之ヲ受取リタル時直チニ登冊ニ記シ且ツ改正シタル訴書ノ端ニ其裁判書ヲ記スヘシ

伊第四百三條　若シ公簿正誤ノ宣告書ヲ既決ノ効力ヲ有スル者タラシムル訴求者ハ其公簿ヲ管掌スル司籍官ニ向テ公正ナル謄本ヲ送呈セサルヘカラス且掌籍吏ハ公簿ニ其宣告ノ謄本ヲ登記スヘシ

荷第七十三条　控訴スヘカラサルニ至リシ裁判ヲ經タルノカアル改正ノ裁判言渡書ハ日附ノ身分訴書ノ簿冊ニ謄記シ又改正セシ訴書ノ端ニ附記スヘシ

墺、廻、墨、魯、英成文ナシ

噢、辺、墨、魯、英或文ナシ

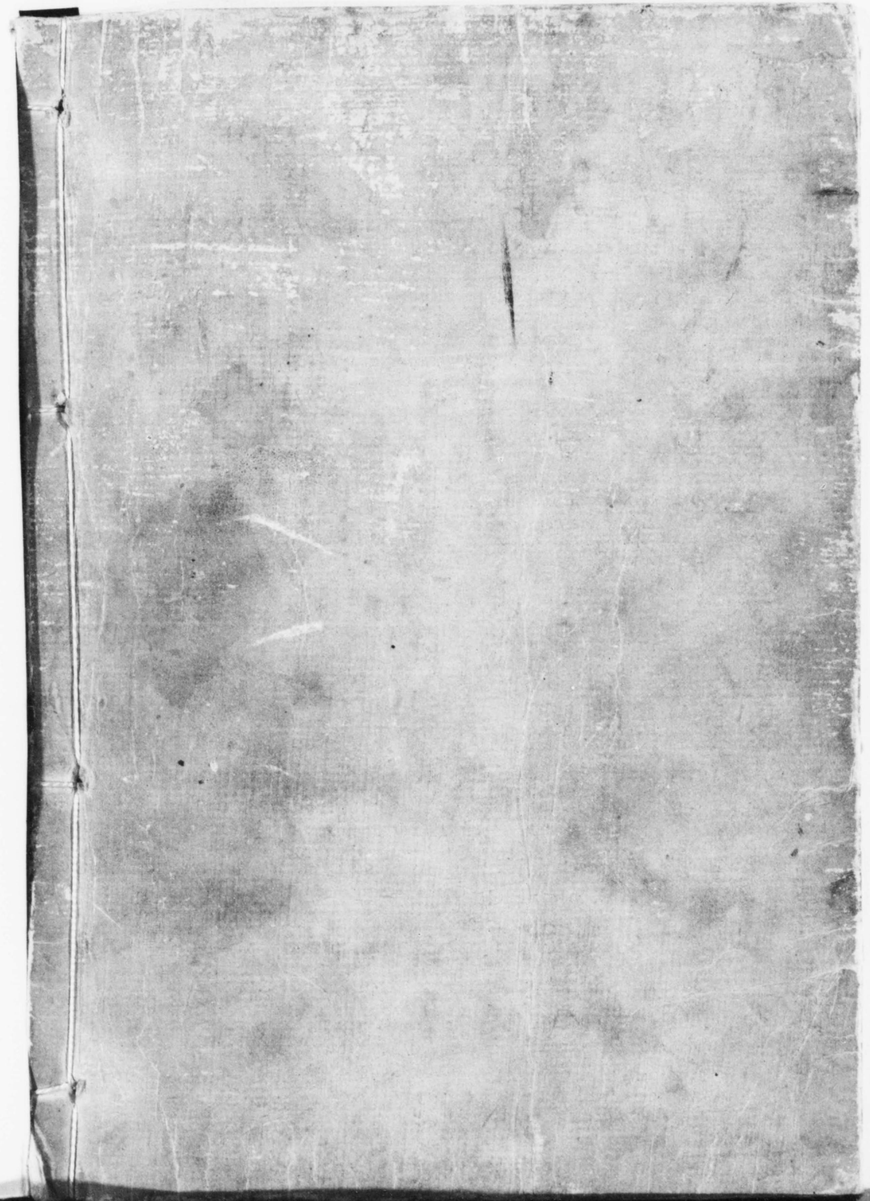
害賠償ヲ為スヲ可シ但シ刑法ニ記シタル刑ト相償ハシムルヲ可シ

第廿七条　仏国五十条第五十条ニ同シ

伊国四百四条　本篇ノ各条則ニ違背スル者ハ民事裁判所ニ於テ十「フラン」以外二百「フラン」以内ノ罰金ヲ責徴スル以前ノ職事ニ依テ使用セラレ、若クハ第四百五条民籍記書及ヒ民籍官ヲ為ニ詐偽及ヒ脱漏アルニ於テハ則チ刑法ニ規定スル罰則ノ外ニ於テ償ノ訴権ヲ使用スルヲ得可シ

（墨、唖、巴、墨、魯、英成文ナシ）

第五百十條　本章ニ於テ申述期限又ハ報告期限ノ定メアル事件ヲ其期限内ニ申述又ハ報告セサル者ハ二十銭以上一円九十五銭以下ノ科料ニ處ス

第四百五十七條第二項ニ違背スル者モ亦同シ

皆成文ナシ